顧問　井上通泰先生
山田孝雄先生
新村出先生

日本古典全集

正宗敦夫　編纂
校訂

伊呂波字類抄　第一

伊呂波字類抄解題

藏書之章

伊呂波字類抄は國語を主とし、漢字を從としたる辭書の最も古きものにしてわが國語學史上極めて意義深き位置に立てる書なりとす。この書は傳本數種あり、色葉字類抄と題せる本二卷なるあり。三卷なるあり。この十卷本もその一種なるが、これは伊呂波字類抄と題せり。又別に世俗字類抄と題せるあり。これも同一系統の書にして二卷なるあり、三卷なるあり。六卷なるあり。

伊呂波字類抄の最も古き體裁は二卷本にしてこの本は現に前田侯爵家本に藏せられてあり。この本は卷上上（イ——ヲ）卷上下（ワ——ム）卷下上（ウ——テ）卷下下（ア——ス）の四册とせるが故に從來四卷本と稱せられてありしが、余は親しく之を閲するを得、よりてこれ卽ち二卷本なるを明かにするを得たり。この本の序は次にいふ三卷本に全く同じくして跋に

自天養比至于長寬廿余年、補綴无隙、部類如舊。更加星點、紕繆雖多、愚昧難直、學者每見可摺改之。雀頭頻動、鳥跡早成、拙哉以此書常欲備左右。可哀卽世日留信於案邊。唯願見此書人、爲余作他邪之唱矣。

とあり。次に

正和四年乙卯正月廿三日書寫畢

とありてその次に禪僧耆宿と題して禪寺所職の名目等をあげ、その末に

永祿八年乙丑季春十一日寫了

と記す。即ち永祿書寫の本なり。なほ卷上下の末に

自天養比至于長寬廿余年、補綴无隙、部類如舊。更加星點、紕繆雖多、愚昧難直、學者每見可摺改之。

傳借橘先生之本爲書本而已。

願以書寫力、得見四諦理、披盡一切人、同證二涅槃。

根本書者上下兩卷、橘先生本開爲四帖、今又開爲八帖而已。

と記せり。以てこの本の四册なる所以を知るべし。ここに八帖となすとあれど、四册なるは正和頃に八帖なりしを後人また合せて四帖とせるなるべし。又卷下上の末には正和の奥書と永祿の奥書との間に應永三十年七月十八日云々の奥書あり。又卷上上の末には

奥書云

傳借橘先生之本。彼人於本色葉和名、更加巧勞、加文字正躍、無極勝士也。（以下四句偈を伊呂四句にあて釋せり）

とあり。こゝに橘先生とあるは、かの三卷本の跋に名を署せる橘忠兼をさせるものと見えたり。而して、こゝに本の色葉和名に更に巧勞を加へたりといふを見れば、この二卷本は一種の增補本にしてその本の色葉和名といふもの別に既に存してありしなり。かくてかの跋によればその色葉和名といふものは、先天養に成

り、その後補綴怠らず、かくて長寛頃に成りしものぞこの二卷本色葉字類抄といふべきなる。

三卷本色葉字類抄は傳本二種あり、一は前田侯爵家に藏せらるゝ書なり。この本現存二册なるを以て從來二卷本と稱せられたりしものなるが、往年余許可を得てみづから之を披閲精査せしに、惜いかな、中帖の逸して上下の二帖の存せるなりけり。その書斐紙厚樣兩面書にして四聲淸濁の朱點をも加へ、古色蒼然たり。その奧書の頭書に天養より養和に至るまでの年號を記し、その年數を記せるを以て考ふれば、その書寫の壽永年中なることを推定し得べし。上帖は內題に卷上とありて「伊」より「與」に至り、下帖は內題に卷下とありて「江」より「須」に至る、その序に曰はく、

叙曰、漢家以音悟義、本朝就訓詳言、而文字且千訓解非一、今揚色葉之一字爲詞條之初言、凡四十七篇、分爲兩卷、篇中勒部、爲令見者不勞也、字下付訓、爲令愚者可指掌也、但外人不見、見而可咲、以授家童欲無市閲、於脫漏字後人補之云尒、

と。これ上の二卷本の序と全く同じきものなるが、これは三卷にしてこの序あり、即ち二卷本はもとにしてこれは增補の後に便宜上三卷にせしが、序はもとのままにさしおきしこと知られたり。その跋に曰はく

自天養比至于治承卅余年、補綴无隙、部類如舊　更加星點、紕繆雖多、愚昧難直、學者每見可摺改之、抑誂貢士有成入道、詞字少々加朱點、爲要文不迷也。件人久學杏壇之風忽入桑門之月、稽古有勤、其說不信哉。仍爲後見之不審、粗所注付也。內膳典膳橘忠兼撰

と。これにてこの三卷本が長寛の二卷本より後十余年治承年中に成りしものなるを知るべく、かの橘先生の忠兼なることをも知るべし。かくてその治承より後四五年壽永年中に書寫せし本、この前田家本たるなり。さて前田家の三卷本は前述の如く闕卷あるは誠に惜むべし。こゝに後世の書寫ながら同じく三卷本を黒川眞前氏藏せらる。この本はもと入江昌喜の所藏なりしが、轉々して黒川春村の架中に入りし本なり。この本はかの伴信友が旅中三たびまで夢に見たりといふその志に感じて春村之を信友に與へしといふ逸話ある本なり。かくて信友書寫し更に春村に返却して今に傳はれるなり。この本前田家本の影寫かと思ひしが、毎紙行數一行宛多く、毎行の字數亦多きを見れば、影寫にあらざること明かなり。そのはしがき、奥書、及びその頭書本文及びその朱點すべて前田家本に同じけれど、よく之を對照するに誤脱少からぬは惜むべし。さはれこの中卷は前田家にも存せぬものなれば、さるかたに貴重すべき本といふべし。

十卷本伊呂波字類抄は最も汎く行はれしものにして從來伊呂波字類抄といへるは主として之をさせるなり。この本は今井似閑が紹介してより學者間に流布するに至りしものなり。その似閑が本は上賀茂御手文庫に存す。その奥書に曰はく、

中院黄門通躬卿家藏御本伊呂波字類抄全部十卷聞其名尙矣。竊恨生前一不繙、幸萱常昭依有葭莩親、懃語旨趣常昭亦多余懇志、而曲啓　黄門、忝荷恩免焉。傳聞此書者洞院家之述作也。于時元祿十三庚辰年洛東隱逸

似閑

この十卷本は二卷本三卷本と體裁一なれど、內容著しく增加してその語數の多きのみならず社寺等の事蹟を注せること詳かにして恰も別の書なるかの趣ありて、三卷本等の外に特立して用ゐらるべき價値を有す。そがなかに、今逸して傳らざる諸書たとへば、本朝事始、本朝文集等の如きを引けるは殊に貴重すべき點なりとす。この本、「神璽鏡劍等事」の條に「壽永二年八月藤原俊經の勘文」を載せたるを以て信友はその後の增補なるべしといへるはもとよりさることなれど、これよりはなほ後なる增補によりて十卷となりしなるべし。似閑が、「洞院家之述作也」といへるは蓋し、拾芥抄の著者、藤原實凞公をさせるなるべけれど未だ確證を得ず。

又別に花山院家本と稱する三卷本あり。その第一册の表紙に記して

花山院家本書爲十卷今合作三卷

とあり。その第三册の首に「八」と見えて他には原本の卷數を記さず、その第一册の末に

正和三年壬三月以或本令書寫訖　[ ][ ]花押

第二册の末に

自以至無者古本在[ ][ ]

以師卿公條公太寫之漢和之文字不審不一連々可見直者也

于時天文壬辰年八月日　通議大夫小槻判

第三册の末も大略之におなじ。この本の第一册はその狀第二册以下に同じからずして大略二卷本又は三卷本の上册に似たり。しかもその「ム」までを收むるを見ればこれはまさしく上の二卷本の上卷に該當せり これ「自以下無本古本在」と記せる所以にしてその古本は卽ち二卷本なりしを見るべし。而してその第二册以下は略十卷本に同じくしてその第三册のはじめに「八」と記せるなどを見れば、この本は二卷本の卷上に、十卷本を繼ぎ足して三卷の體になしたりしものと見えたり。その內容の不整頓なるは蓋しこれに基づくなり。又別に上卷一册の零本神宮文庫、內閣文庫等にあり。內閣文庫のものは色葉字類上と外題にありて「伊」にはじまり「邪」の天象部「九月」に終れり。その內容を見るにこれまたかの二卷本の上卷殘闕を書寫したるものと思はる。

伊呂波字類抄の現存の本にして余が知れる限りは上の如し。而してその天養の初稿本卽ち、二卷本の跋に色葉和名と記せる本は如何といふにこれは恐らくは今世俗字類抄とて傳はれる二卷本なるべし。世俗字類抄は二卷本の外に現存せるもの三卷本あり、六卷本あり、又別に本朝書籍目錄に載せたる四卷本あり。この四卷本は今何處にあるか未だ見るを得ず。

二卷本世俗字類抄はその體裁伊呂波字類抄に同じくして內容はやゝ少しと見ゆ。黑川眞道氏の舊藏にして、(恐らくは大正十二年の震火に亡びしか)二册に分ち稍新しき寫本なり。三卷本世俗字類抄は永正の書寫にして水戶彰考館に藏せらる。これもと高田與淸の藏書にして、その序はかの伊呂波字類抄序に略同じくして

ただ次の數句の異なるのみ。

爲令見者可不勞也（醉ナシ）

不可及外見而可咲（但外人以下ヲカク作レリ）

信而可請豫（欲無市閙ノ四字ニ代レリ）

かくてこの序に源周光撰と記せり。この源周光といへる人未だその時代を詳かにせず。若くは藤原周光の誤記にあらずや。藤原周光は院政時代著名の文人にして本朝無題詩等にその作多く見え、法性寺入道關白忠通、藤原通憲等と時を同じうして唱和せし人なり。この周光とせば、天養の比といへるに時代正に合致す。かくてこの序はその初稿本の序にしてこの世俗字類抄は卽ち色葉字類抄の前身たるものと思はる　この二卷本世俗字類抄の末に「伊呂波字一成之」とあり。こはかの「色葉和名」といへるがそのもとの名なることを示せる一端とも見られたり。

六卷本の世俗字類抄はこれも前田侯爵家の藏にして卷の次第を示せる題目なく、たゞ六册に分てるのみなり。序なくして奥書に、

本書云　建保三年乙亥六月廿三日於予吉水御所書寫畢

本云　文永三年丙寅五月十日加雙紙修補之由在之

貞和三年丁亥十一月日重而致修覆之旨在之

應仁大亂之時自都或方詫　　置之所望
餘文明第九之比
兩帖者紛若　　　缺
仍本書世篇
爲幼學?
　　　　　　　　　　刑部少輔藤原朝臣在判

とありて頗る缺損せる本なり。躰裁はすべて伊呂波字類抄一般と同じくしてまゝ名字といふ題目を俗名と記せる處あるを異なりとす。上の二卷よりも内容遙に多くして書中に吾妻鏡、太平記　定家假名遣等の名あり。之を以て推すに文明の頃に增補せられしものなるべし　而して、かの本朝書籍目錄に見えたる四卷本は現に傳はれりや否やを知らねど、恐らくは、かの二卷本若くは三卷本を增補したるものにして、その四卷本を增補せしものこの六卷本なるべし

今上に述べたる諸本の關係を一目に知らるべくすれば次の如し。

世俗字類抄 二卷本（天養黒川本ノ原本）― 世俗字類抄 三卷本（彰考館本）四卷本（?）― 世俗字類抄 六卷本（前田家本）
色葉字類抄 二卷本（長寬前田家本　原本）― 色葉字類抄 三卷本（治承前田本ノ原本）― 伊呂波字類抄 十卷本

以上字類抄に關して余が知れる大略を記して諸書の關係を述べたり。かくて吾人が、研究上最もはやく世に知られ、又最も汎く應用せらるべきは十卷本なるが、その最も精核典據とすべきは三卷本なりとす。大正八年正宗氏十卷本の複寫を企てらるゝにあたり、余に校合を囑せられたり。正宗氏の底本は伴信友校本の複寫にして惡本にあらねど、寫手拙にして面目を損ぜし點少からず、余は內閣文庫本、東京帝國大學本を以て校合せしかどこの二本正宗氏本より惡しき點少からず。僅少の本を以ての校合は正しき面目を得むこと難し。よりて私按を加へむかと思ひたれど、こは短月日のよくすべきにあらざるのみならずかへりて人を誤る處なしとせざるを以てその計畫を中止して、ありのまゝに校合するに止めたり。而してその事を終へしは大正八年十二月十五日なりき。然れどもこの校合本にても世に流布する本よりは誤りは少からむ。それらの事は實地に諸書を對照したらむ人は首肯せらるべし。然るにてもこの字類抄の研究はかの三卷本を第一とし、更に二卷本及び、二卷本世俗字類抄の自由に披閱せらるゝにあらずば、全くせらるべきにあらず。この故に余は前田家三卷本及び黑川本三卷本の世に公にせられむことを熱望し、心を盡して、斡旋せしこと屢なりしかど、その效を奏することを得ざるを遺憾とせしが、大正十五年六月前田侯爵家本は育德財團にて複製せられて世に布かれ、黑川本も亦古典保存會によりて複製を了へたれば、本書の研究材料は粗備はれり。今又古典全集の一として、この十卷本の公に布かれむとするは、これ亦學界の爲に一慶事を加ふるものといふべし。

昭和三年六月五日

山田孝雄識

標目省文

第一

(い) 天初丁 地初ウ 殖二ウ 動六 人七ウ 躰八ウ 偉九 食十三 雜十三ウ 彩十四ウ

方五 數十五 辭十六ウ 重廿ウ 置廿ウ 社廿五 寺三十ウ 國三九 官四一 娃四一ウ 名四二

(ろ) 天四三ウ 地三二ウ 殖四三 動四三 人四三ウ 躰四三ウ 偉四三ウ 食四三ウ 雜四四 彩四四

方四三ウ 數四四ウ 辭四四ウ 重四五 置四五 社四六 寺四六ウ 國四八 官四八 娃四八 名四八

(は) 天四八ウ 地四八ウ 殖五十 動五三ウ 人五五ウ 躰五六ウ 偉五七ウ 食六一 雜六一 彩六三ウ

方六五ウ 數七一 辭七四ウ 重七十 置七十 社七六 寺七九 國八一 官八四 娃八四 名八四ウ

第二

(に) 天初丁 地初ウ 殖初ウ 動初ウ三 人四ウ 躰四ウ 偉四ウ 食五 雜五ウ 彩六

方六ウ 數六ウ 辭六ウ 重九 置九 社九ウ 寺十二 國十三ウ 官十四 娃十四ウ 名十四ウ

(ほ) 天十五 地十五 殖十五ウ 動十七 人十八 躰十八ウ 偉十九ウ 食十九ウ 雜廿 彩廿一ウ

方二二 数二二ウ 辞二二ウ 重二五ウ 畳二二ウ 社二八 寺二八ウ 國三一 宦三一ウ 姓三二ウ 名三二ウ

（へ）

天三二ウ 地三三 殖三三 動三三ウ 人三四 躰三四 俸三四ウ 食三四ウ 雑三五 彩三五ウ

方三五ウ 数三五ウ 辞三六 重三六ウ 畳三六ウ 社三九 寺三九ウ 國三九ウ 宦三九ウ 姓四十 名四十ウ

（と）

天四十ウ 地四一ウ 殖四二 動四三 人四四 躰四四ウ 俸四四ウ 食四五ウ 雑四五ウ 彩四七

方四七 数四七ウ 辞四七ウ 重五五ウ 畳四六 社五八ウ 寺六十 國六二 宦六二ウ 姓六三ウ 名六三ウ

（わ）

天六四ウ 地六四ウ 殖六五 動六六 人六六ウ 躰六七 俸六七ウ 食六八ウ 雑六八ウ 彩六九

方六八ウ 数六九ウ 辞六九ウ 重七十ウ 畳七一 社七四 寺七五 國七七 宦七七ウ 姓七八ウ 名七九

第三

（り）

天初丁 地初丁 殖初ウ 動初ウ 人二 躰二 俸二 食二ウ 雑三 彩三

方二ウ 数三ウ 辞三ウ 重四 畳四 社六ウ 寺七 國七 宦七ウ 姓七ウ 名七ウ

(ぬ) 天八 地八 殖八ウ 動九ウ 人九ウ 躰十 俸十 食十ウ 雑十ウ 彩十一

方十二 數十二ウ 辭十二ウ 重十二 疊十二ウ 社十三 寺十三 國十三 官十三 姓十三 名十三ウ

(る) 天十四 地十四 殖十四 動十四 人十四ウ 躰十四ウ 俸十四ウ 食十五 雑十五 彩十五ウ

方十三ウ 數十三ウ 辭十五ウ 重十五ウ 疊十六 社十六 寺十六ウ 國十六ウ 官十六ウ 姓十七 名十七

(を) 天十七 地十七ウ 殖十七ウ 動十九 人廿ウ 躰二十一ウ 俸二十一ウ 食二十二 雑二十二 彩二十六

方二十六 數二十六ウ 辭二十八ウ 重二十九 疊二十九ウ 社三十ウ 寺三十二 國三十三 官三十三ウ 姓三十三ウ 名三十四

(わ) 天三十ウ 地三十ウ 殖三十五 動三十五ウ 人三十五ウ 躰三十六 俸三十六ウ 食三十八ウ 雑三十九 彩四十

方四十 數四十ウ 辭四十ウ 重四十二ウ 疊四十三ウ 社四十三ウ 寺四十四 國四十四 官四十四ウ 姓四十四ウ 名四十二

(か) 天四十二 地四十六 殖四十七 動五十四 人六十 躰六十一 俸六十二ウ 食六十五ウ 雑六十七 彩七十五

第四

方七三ウ 数七四 辞七五ウ 重八十ウ 畳八十ウ 社九二ウ 寺百一ウ 國百五ウ 宦百六ウ 姓百八ウ 名百九ウ

(よ) 天初丁 地初ウ 殖初ウ 動二 人二ウ 躰三 律三 食四 雑四ウ 彩五

方五 数五 辞五 重八 畳九 社十 寺十一 國十一ウ 宦十一ウ 姓十二 名十二

(た) 天十三 地十三ウ 殖十四ウ 動十六 人十七 躰十七ウ 律十八 食二一 雑二一ウ 彩二四

方二四 数二四 辞二四ウ 重三三 畳三三ウ 社三六 寺四二 國四六 宦四六ウ 姓五十ウ 名五一

(れ) 天五二 地五二ウ 殖五二ウ 動五二ウ 人五三 躰五三 律五三ウ 食五三ウ 雑五四 彩五四

方五四 数五四ウ 辞五四ウ 重五四ウ 畳五五 社五六 寺五六ウ 國五六ウ 宦五七 姓五七ウ 名五七ウ

(そ) 天五七ウ 地五八 殖五八ウ 動五八 人五九 躰五九 律六十 食六十ウ 雑六一 彩六一ウ

方六二 数六二 辞六三ウ 重六四ウ 畳六四ウ 社六七ウ 寺六八 國六八ウ 宦六八ウ 姓六九ウ 名六九ウ

方三八ウ 數三八ウ 辞三九 重四一 畳四一 社四二ウ 寺四三ウ 國四四 官四四ウ 姓四四ウ 名四五

㋒

天四五 地四五ウ 殖四六 動四九ウ 人五十ウ 躰五二ウ 律五三ウ 食 雑五六 彩五七ウ

方五七ウ 數五八 辞五八 重六四 畳六四 社六五 寺六七 國六八 官六八 姓七十 名七十ウ

㋸

天七十ウ 地七十ウ 殖七一 動七十ウ 人七十ウ 躰七二ウ 律七三 食七三 雑七十ウ 彩七二ウ

方七四 數七四 辞七四 重七四ウ 畳七四 社七六ウ 寺七七 國七七 官七七ウ 姓七八 名七八

(の)

天七八 地七八ウ 殖七九 動七九ウ 人八十 躰八十 律八一ウ 食八二ウ 雑八二 彩

方八三 數八三ウ 辞八三 重八六 畳八六 社八六ウ 寺八七 國八七 官 姓八七ウ 名八七ウ

第六

㋔

天初丁 地初丁 殖初ウ 動五 人七ウ 躰八ウ 律九 食十ウ 雑十二 彩十四

方廿四ウ 數廿ウ 辞廿五 重二十ウ 畳二二 社二二ウ 寺二七ウ 國二九 官三十 姓三十ウ 名三十ウ

第七

(く) 天三十七 地三四 殖三十五ウ 動三十六ウ 人四十 躰四一 偉四一ウ 食四三ウ 雑四四 彩四七

方四十七ウ 數四八 辭四八ウ 重五十五ウ 疊五三 社五九 寺六三 國六八ウ 官六八ウ 姓七二 名七三

(や) 天七十ウ 地七三 殖七二ウ 動七六ウ 人七七 躰七七ウ 偉七八 食七九ウ 雑八十 彩八一

方八一 數八一ウ 辭八一ウ 重八十五ウ 疊八五ウ 社八六ウ 寺八八 國八九ウ 官八十ウ 姓八十五ウ 名九一

(ま) 天九十ウ 地九一ウ 殖九二ウ 動九三ウ 人九四ウ 躰九五 偉九六 食九八 雑九八ウ 彩百

方百 數百一ウ 辭百三ウ 重百五 疊百五ウ 社百六ウ 寺百八 國百八ウ 官百九 姓百九 名百九

(け) 天初丁 地初丁 殖初ウ 動初ウ 人二 躰二ウ 偉二ウ 食三 雑三ウ 彩四

方四 數四 辭四 重五 疊五ウ 社十 寺十〇 國〇 官〇 姓十二 名十三

(ふ) 天十二 地十三ウ 殖十三 動十四ウ 人十五ウ 躰十五ウ 偉十六 食十七ウ 雑十八 彩十八ウ

方二十ウ數二十ウ辭二一重二四疊二四ウ社二八ウ寺二九ウ國三十宦三十ウ姓三二名三一ウ

こ

天三二地三二ウ殖三三動三四ウ人三五ウ躰三六ウ傳三七食四十雜四一彩四三

方四三ウ數四四ウ辭四四重四八ウ疊四八ウ社五二ウ寺五三ウ國五十ウ宦六十ウ姓六一名六一ウ

江

天六二地六二殖六二動六三人六三ウ躰六四傳六四食六四ウ雜六四ウ彩六五ウ

方六五ウ數六五ウ辭六六重六六ウ疊六六ウ社六八ウ寺六八國六九ウ宦六九姓六九ウ名七十

て

天七十地七十ウ殖七一動七二人七二ウ躰七二ウ傳七二食七二ウ雜七三彩七三ウ

方七四數七四辭七四ウ重七四ウ疊七四ウ社七七寺七七ウ國七七ウ宦七七ウ姓七九名

苐八

あ

天初丁地二殖十三動八ウ人十一躰十二ウ傳十三食十五雜十六彩十六

方十九數十九ウ辭二十重三一疊三一社三二寺三八ウ國三九宦四十姓四一名四二

第九

（さ）天四三 地四三 殖四四 動四五ウ 人四七 躰 偉四六ウ 食五十 雑五一 彩五三

方五三 数五三 辞五三ウ 重五八 畳五八ウ 社六三ウ 寺六六ウ 国六八ウ 官七三ウ 姓七三 名

（き）天七六 地七六 殖七五 動七七 人七七ウ 躰七八 偉七八ウ 食七八ウ 雑七八 彩八〇ウ

方八〇ウ 数八二 辞八二 重八五 畳八五 社九一ウ 寺九二 国九三 官九四 姓九四ウ 名九五

（ゆ）天一オ 地一ウ 殖一オ 動二 人二ウ 躰二ウ 偉三 食四 雑四 彩五ウ

方五ウ 数五ウ 重 辞五ウ 重 疊八 畳八 社八ウ 寺十 国十一 官十一 姓十一ウ 名十一ウ

（め）天十二 地十二 殖十三ウ 動十三ウ 人十三ウ 躰十四 偉十四ウ 食十五 雑十五 彩十五ウ

方十五ウ 数十六 辞十六 重十七 畳十七ウ 社十八 寺十八ウ 国十九 官十九 姓十九 名十九

第十

(み) 天十九ウ 地十九ウ 植二 動二二ウ 人二三ウ 躰二四 律二四 食二五ウ 雜二五ウ 彩二七
方二七 數二七ウ 辭二七ウ 重三十ウ 疊三十ウ 社三一ウ 寺三四 國三五 宦三六ウ 姓三八 名三八ウ

(し) 天三九ウ 地四一ウ 植四二ウ 動四四ウ 人四五ウ 躰四六 律四七 食四九 雜五十 彩五七
方五四ウ 數五五 辭五五 重六一 疊六一ウ 社七二 寺七六 國八六 宦八九 姓九三 名九四

(ゑ) 天初丁 地初丁 植初ウ 動二 人二ウ 躰二ウ 律三 食三 雜三ウ 彩三ウ
方三ウ 數四 辭四 重四ウ 疊四ウ 社五ウ 寺五ウ 國七 宦七ウ 姓七ウ 名八

(ひ) 天八 地九 植九ウ 動十二 人十七 躰十四ウ 律十五ウ 食十六 雜十六ウ 彩十八ウ
方十八ウ 數十九 辭十九ウ 重二三ウ 疊二四 社二六ウ 寺三十 國三一ウ 宦三三 姓三三ウ 名三四

(も) 天三四ウ 地三五 植三五 動三六 人三六ウ 躰三七 律三七 食三八 雜三八 彩三九

方二九 数三九ウ 辞四十 重四二 宜四三ウ 社四四 寺四四ウ 國四五 官四五 姓四六ウ 名四七ウ

(せ) 天四六ウ 地四六ウ 殖四七ウ 動四七ウ 人四八 躰四八ウ 傳四九ウ 食四九ウ 雑五十 彩五十ウ

方五十ウ 数五一 辞五一 重五三 宜五三ウ 社五七 寺五七ウ 國六十 官六十ウ 姓六一ウ 名六一ウ

(す) 天六二ウ 地六二 殖六三 動六四ウ 人六五ウ 躰六六 傳六六ウ 食六七 雑六八 彩六八ウ

方六八ウ 数七十 辞七一 重七五 宜七六 社七八 寺七八ウ 國八十 官八十ウ 姓八一 名八一ウ

右目録者今新加以便捜索

于時天保十二歳次辛丑春二月

色葉字類抄序

叙曰漢家以音悟義本朝訓辭言而文字且千訓解非一令揚色葉之一字為詞條之初言凡四十七篇今為十巻篇中勒部為令見者不勞眸也字下付訓為令愚者可指掌也但外人不見々而可咲以授家童欲無市閲於脱漏字後人補之云尒

伊呂波字類抄

イロハ　一

伊呂波字類抄一

伊

天象 付歳時

雷 イカツチ 亦作（靁）靁古文作 ○靐　霆 疾雷也　○霆 已上同　雷公 ライコウ

雷師　雫 テイ　○畾　霹靂 已上同　豊降 イカツチナル

牽牛 イヌカヒホシ ケンキウ ヒコホシ　河（鼓）皷 皷　月暈　月院 已上同　古 イニシヘ

以往　終古　既往　往　曾

舊 ○舊　故　○嘗 嘗　昔 已上同　今 イマ 音金對古之稱也 又是時也

初

時　肆　此 已上同　早晩 イツカ

初ウ

地儀 付居処 并居宅具

池 イケ　陂　沼 已上同　泉 イツミ 水面　濫

礒 イソ（磯）碕也（イモ）　沙 イサコ 水旁石　砂 同 日本紀和記云ー 亦方奈古 ○細砂也（減）　石 イシ 凝土也 新抄

本草云石鍾乳 以之乃知ヽ　硎 已上同　磐 イハ 大石 音盤 岩也 亦石也 日本紀和記云千人所引磐石チヒキノイシ

巖 イハヲ 峯也 險也 亦作巗　巗 巖　磴　岩 已上同　石橋 イシハシ

矼 音江　杠 已上同　甃 イシタヽミ 亦イシハシ 倒救反 毋（側救誤）　柱礎 イシスヱ 亦ツメイシ　磌 同 亦ツヽヘイシ

撼 イヒ 池也陂下伏竇 許慎曰撼所以通陂竇也　窟 イハヤ 石ー　岐　砥 砥 已上同

市 イチ 買賣之所也 神農始之　肆 イチクラ 買賣之所也 肆陣也　隧 イチミチ 音遂也已上同 ー道　家 イヘ 三位已上ー

〔[illegible]〕　宅 已上同 四位已下ー　廬 イヲリ 毛詩注云農人作廬　営 イヲリ エイ 軍ー

〔便云美豆加岐 俗之〕

庵 アム 草ー 已上同　瑞籬 イカキ 俗云美豆加岐 皆也 イ充　甍〔甍〕 亦作〔甍〕甍 屋棟也 イラカ　屋脊 同

板敷 イタシキ　礎 イシ台　圓 イチマト　郁芳門 大炊御門

殷富門 西近衛門 已上イ（ナシ）　遊義門 宮城門　陰明門

右腋門 已上 禁腋門　悠記所 イウキシヨ 大嘗會之時云左也　右青璅門

殖物

稲 イネ 漢語抄云美之路乃以称 青稲白米　稌　稅杭 已上同　稃 イネノクヒ

秿 同　穲 イナクワ イナモト　粮 同 イナクキ　褏 イナタハリ 亦作稟　穧 同

（イチヒラハイチヒラノ訛カ）

地菘 イヌノシリ　積 イナツカ イナツミ イナタハリ　五穀 以豆々乃太奈都毛乃 周礼注云黍稷菽麦稲也　苣 イチヒラ

（頌項ハ頒ノ訛ナリ）

茵 イチヒ　泉　蕳又莔 蕳實 仁諸音 頌項 开反　蕷項 實 出蘓敬注 已上イ[illegible]

苛 イラ 小草生刺也　茸　栄蔓 イラ 已上同前　覆盆子 俗用之 イチコ

覆盆子 イチコ　蘇盆子　苺子　蓬 仁諸音　覆盆柏

陵累　陰累 本條　馬屡　陸荊　苺 茂 仁諸音

馬苺 已上三名出疏文　大苺 出小品方　木苺

山苺 已上名出兼名苑 已上 イチゴ　覆盆 陶景注云根名蓬蔂実名覆盆　珠蔂

苺子懸　鉤子 江東十月亦有也名○曰○懸○鉤○子○已上（ヘイチゴ） 三種出崔禹已上　鬼桃

已上又名カウフリイチゴ 見于本中也　羊桃 イテクサ イラクサ　銚芅（芅） 亦イチコ仁諝音 銚イ本ノ

（本草和名銚弋トアリ蓋之ニ草冠ヲ加ヘシモノ）

羊腸 出稗敬注 イラクサ　萇楚　御弋 楊玄操音　紩子根 仁諝音

薯蕷 イモ 山イモ 藷又藷　芋 イヘノイモ　蹲鴟 イヘノイモ イモカシラ　土芝

（本草和名ノ注ニヨルニ櫖ヲ正トス）

梠芋 楊玄操作○櫖 又作侶皆音呂　野芋　左芋 已上三名 出陶景注

青芋　紫芋　真芋　白芋　連○邉（邉）芋

（鬼ハ蓋 魁ノ畧）蹲鴟 已上六名 出顔散注 君子芋 大如升（魁ニ本アリ） 鬼車盤芋 イナン

鋸子 青邊芋 夢緑芋 鶏子芋 色黄 百果芋 歃取百斛

早芋 七月熟 九面芋 大而不美 家控芋 百子芋 青芋

魁芋 已上十三種 出廣志 長味 談善 已上二名出兼名苑 已上イヘノイモ

（作ハ蓋 俗ノ訛）魁 イモカシラ 芋根也 蔙 イモシ イモカシラ 芋柄 作用芋茎 已上同 商陸 イヲスキ

作蔏（一蔏） 薩草也（一薩） （葛）葛根 仁諧音 夜呼 商棘

（按スルニ 葛、蔏 共ニ訛ニシテ 葛ヲ 正トス） 陽根 常蓼 馬尾 已上四名 出釈某性 章陸草

常陸 （ナシ）莧陸 長根 神陸 白華 逐邪

交時 味醎小冷其色黒　°𩋓足（豹）　千秋 已上イハクミ 出太清経　海髪 イキス

小髪　小凝菜 已上円　櫟 イチヰ イ本櫟子

櫟梂 イチヰノカサ　葛榭 イタチハシカミ　°山茱萸 イナシ イタチハシカミ

（山字アルモノ本草和名ニ合ス）（中ハ炎ハ蓋巨支ノ訛）

蜀漆　鷄足（鵄）　思益　°魃賓（魃） 楊玄操音呼哎反

鼠矢 出叙菜性 已上六名以多知波之加美　兔葵 イヘニレ 又クロニレ

蕪萬　茀 已上円 仁諝音　羊°躑躅（躑） イハツヽシ 又モチツヽシ　玉支

史光 出叙薬性 已上見于本草イハツレ　木蓮子 イタヒ 菓子類　折傷木 円

剌 イカ 栗ー　菟葵 以久倍尓礼　梂栗 イカクリ　水蘋 イヲエ

石斛 イハクスリ　木斛 亦名イハクスネ スクナヒコノクスネ 生磯石上者也　林蘭

禁生　杜蘭　石遂　雀髀石斛 已上イハクスリ 状如雀髀故　強膂

名之三名 出蘇敬注

粒 イヒヲ　狗脊　百枝

扶蓋 扶蓋　扶筋 扶筋　狗青 狗青　萆解　赤節 出釈

口宗性 イヌワラヒ 已上 八名見于本草

石韋 石韋 陶景注云叢如皮故名石韋　石皺 揚玄操音

石皮　瓦韋 生瓦屋上　石産 出釈薬性

又有木韋 生木上出雑要決已上六名以波乃加波一名以波之一名以波久佐

動物 付動物躰

鴿 イヘハト　鵤 自似鴿白啄也 イカルカ　玨鳩 同　鵂鶹 イヒヨ

（「鵼」ハ「鵺」ノ訛ソノ下ハ「イヒトヨ」行）

鵼 イヌケヒ 一鳥也　鷄鵙　老鵵（莵）已上同　鵁鶄（鵁鶄）イヒ 交青二音 任海道 이ᄂ아여

鳾 同 鵁鶄鳥名

休留二六鳥也人截手足爪棄他則入其家拾取之知有吉凶下上者輒鳴其家有狭云云見博物志

稲負鳥 イナヲヲセトリ 出万葉集　犬 イヌ　猗尨　[illegible] 宋良犬也

狗 犬子也　ココ猧 猗（猫）　獹　犴　獒 大犬

敎　牧　猧 已上イヌ　狗蝇 イヌハエ　犬虬 同

（「犬」字蓋衍）

犬吠 吠吼也 イヌノタマシヒ　鼬鼠 イタチ　犺

「烏鳴」ニ字本草和名ニヨルニ「鳥鳥」ノ訛

烏賊 イカ　鰞鰂 同 亦作鰂　烏賊魚 陶景注云鸔烏所化也 崔禹云 鴟烏

無所而浮烏鳴翔欲啄之 回奮巻捕所敘之以名之　河神之吏 出崔禹　河伯度事

小吏 出古今注 已上 イカ見于本草　烏賊黒 イカノクロミ　鯾 イヲノワチ

腴 同　魚丁 イヲノカシラ ノホ子　脬 イヲノフエ 魚腹中水府也　鰾 鰮 同

鮈 イヲノハラワタ　鮇 イヲノエ　絪 細 (正)絪カ 細 珠ー也 細

「ウチ」ハ蓋「ツチ」ノ訛 「ヲナロ」ハ「ヲナロ」ノ訛

蟷蜋 イホウシリ 和名ヲホチカフクリ 礼記云 仲夏々々生　蛭蠰　蟷蠰 已上同

螽斯 イ子ウチ ツキ (ヨ)イヲナゴロ　螽蟴 イナゴノコ イ子ウヅキ ヲナゴ(ヨ) ナゴ(ナゴ)(ナロノ訛)　蠜螽 上音煩

蠡螽 イ子ウツキ ヲナロ　蚣蝑 同　舂黍 同　蚱蜢 イナゴ(ヨ)

螽蟲 円 螇蚸 狼似蟷虫而長細色黄蒼飛時作聲
在荒田野也

蜙 音才公反与螇蚸相似而色灰小短
飛時亦翅作声在人家庭間

「螽」ハ「蠜」ノ訛

蟶蜓 色蒼小夬長大腹延脚居地以尻穴土飛時
亦翅作声足物不可食出崔禹

螽蟴 終斯二音　蚣蜙 蜥螽 嵩纖煩 三音

「蝟」ハ「蝑」「胃」ハ「胥」ノ訛

蚣蝟 音 胃　春黍 已上四名出兼名苑 イナゴマロ　赤蟻 イヒアリ

「フ」ハ「丁」ノ訛

赤駮蜉　蚍蜉　蠪虰 已上同

人倫 付鬼神類

母 イロハ 尓雅云母為妣日本紀私記云母以路波舍人云生称父母死称見波部考妣郭璞曰公羊傳曰恵公者隠公之考也仲子者桓公之母也明非死生之異称矣楊氏漢語抄云阿嬢

兄 イロノ子 亦アニ コノカミ 尓雅云男子先生為兄一云昆和名古乃加美日本紀私記云伊呂称

姉 イハヱ アネ イロ子 尓雅云女子先生為姉女兄音止和名阿称日本紀私記云与兄同

妹 イモウト 尓雅云女子後生為妹音昧和名以毛宇止日本紀私記云以呂止

従父兄弟 イトコ 父ノ兄ノ子 父ノ弟ノ子 尓雅云兄之子弟之子相謂為従父昆弟姉妹但兄之子男為従父兄女為従父姉弟之子男為従父弟女為従父妹也

従父兄 父之兄男

従父弟 父之弟男

従父姉 父之兄女

従父妹 父之弟女

従母兄弟

従祖伯叔 イトコチ

再従兄弟 イヤイトコ 九族図云再従兄弟

姉妹曰姨

◦娣（嫉） イモシウトメ

◦姨（嫉） イモシウトメ 尓雅云妻之姉妹姨之

市人 イムヒト

市郭兒 同見揚子漢語抄

軍 イクサ

師 帥

魁

卒

歟（歎） 已上同

窮鬼 イキスタマ

生靈（霊） 同

好色 イロコノミ

忌子 イムコ 御即位

稲實公 イナミノキミ 御即位

童女 イムコ 已上二人大嘗會供奉人名也

人體 付病瘡類

考 㖀 存 佃 俚 䕢 蕐 汭 㣯

生 居 鄙 民 俾 廝 竄 嚕

活 穌 芮 㖆 得 訌 㖑 寠

縠 賤 早 𡱄 䪨 遉 耿 亞

九ウ 䫫 苟 㖄 陋 盷 衡 醜 固

下 偷 野 㝵 己上イヤシ 㝢 イヌ

㾊 寐（寐） 痛 イタシ腹之病也 慟 イタム 懊

快 愴 懵 㦖 恫（恫） 毒 惕

痘 㾉（疢） 㥯 㥯 悽 方妻痛也 悵

慄 悚 愓（愓） 愓（愢） 怡（怡）

㗙（㗙） 物 收 怜 㗐（劇）

恒 㤹 䫇 㖀（酘） 慘 感也毒也雲怕

｜示也 㥥 㤹 鈴（鈴） 馮（馮） 彫

〇輸 輸　悼 云悼ー也　慇　〇慄(慄)　キウ 愁 愁

恰　惜　〇痰(疾)　讇　〇耽 耿

唏　〇慼 慼 (惐)　〇晴(晴)　〇隣(隣)　羚

〇愔(愔) 惆　懐　忡　勞　傷 六商

〇惆 惆イ 六通　痛 イタム 己上同　謚 イミナ ー号　〇諱(諱)　〇懿 懿 (懿)

羨 己上同　聲 イコフ 〇　僟(僟)　況　代

繾 繾 (繾)　〇悸 悸　喫　益　〇報(報) イラフ 己上同

幼 イトケナシ イウ　少　㤿　稚 己上同　諫 イサム イサシム

調(訶) 詞 諂 叱 許

詢 讕 敢 証 愬(已上同 ヰアトモ)

暇(イトマ) 假 追 偟 遙

隙 覞 居 ◦瞻(瞻)(瞻) 閑(已上同)

瞋(イカル 一同) 嗔 怒 怨 慍

懣 ◦嗟(恚) 惪 瞵 忿

忤 挌 ◦嚱(嚱) ◦擠(擠) ◦搽(你)

◦揩(揩) ◦蔑(蔑) ◦噁(噁) 啞 土憤

悔　頣　吐（已上 イカル 咥）　捺（搽）　吒　勞（イタハル イタハシ）　榮　惆

苛　漬（漬）　㗅（勇 イサム）　賁　咄　吻（句 吻）　躬（躬）　悍（悍）

呵　佞（佞）　虎　得（㝵）　勤（勤）　御（御）　嘞（已上同 勒）

悄　叱　忏　驍（武也 健也）　悍（已上同 悍）　忍　惓　僞（イツハル イツハリ）

惶（ナニウ 悍）　奮　擴（擴）　佗　憂（イタハシ）　徐　慵（庸）　姦

詐 °諠 譴 譏 佯 °惕 陽

縲 摩 紿 欺 這

°誕(誕) 誑 謫 °謙(謙) 諛

詾 詭 イツハル 食 己上同 努 イキヲヒ 威

萬 己上同 鬱 イキトヲル 憤 遹 悶

°恂(抱) 己上同 °歔 歔音嘘(歔) 氣息也 吹 °嚘 同 イキトホル°(ヨ) 縋 イコフ °活(活)

憩 ·頤 °惕 楊 槃 堅 咱

慰 息 °穩(穩) 悃 己上同 イコフ °嘘(嘘) イキシ° イコフ 努

氣同　齋籠イコモル　致齋チサイ イミサス

一齋イコモル イッキ 哉一一宮一院 巨足等也 六ー自八十四五 十一八四上八 吴八十四五 十二四八九十　齋イモヰ イソク　鱟イヒカシク 想穆陵一定

婼イム 一浴也 ○　弋射イツル　射（彈）イツル　石門イシカキ

砦イシナトリ　礔イシハシキ ○磿（礔）（コレハ誤字也）　石拋　石彈 已上同

鐖イニヘ 彀不熟也　師イクサタチ　猷イウ 同 謀也 圖也 道也

幸イテアス 悕一　綢イトクル　絞イトクル　○捲（繕）イトヨル　綜糸イトナハス

悒 悒 イフス　壹哢樂イツロ ラク　（德）　溢金樂イツ キム ラク 同上

壹團橋 橋 同　壹德塩イフトクエン　移都師

（「浴」ハ「欲」ノ訛）

飲酒楽

壹腰鼓（イチエウコ）

遊字女（児カ）

壹越調（イチコツテウ）

石川楽（イシカハ）

飲食

飲（イヒ） 扶運（遷）反 蒔二反 黄帝中始 飯叻蒸獻爲一也亦作餘餠

膾（イリモノ） 小付膾亦作爓饌

「汗」ハ「汁」ノ訛

蕷（イモシ） 芋茎也 亦イモタラ

芋柄 同 俗用之芋茎或用之

「只」ハ「ス」ノ訛 餩（コ）濃（ミ）餸（ツ）嚮

色刹 同

麷（イリムキ）

饕（イヒムロ）

（饕欸）

餉（餉） 餉（ク） 亦カレイヒ（イヒ）

煎物 同

熬海鼠

饋（イヒコロ・ツツノ）

粒（イナツヒ）

署預解（イモカユ）

煎汁（汁迂）（イロリ）

訛（ロハコルノ）飯盛 イヒスロ　煎付大豆 イツクナノ

雜物

絲 イト 仏用糸　纛[illegible] イトノ畧名　絮　縰 紕

繹　絞　紡 已上糸也　線 イトスヂ　縷 同 絲ー

纇 イトノフシ　類 イ本　綫 同六線細絲也或手絲也　總 イトフク

怨 同六怨 細絹也

二寸見或今家印一寸五分見格 御印一寸

牛馬印長二寸弘方一寸五分已上見格

煉(鍊)

今木 イマキ 御湯殿時著衣名也

衣架 イカ ホミソカケ

中練 イクミ 矢身也

倚子 イシ 胡床足類也

大ゝゝ高一尺三寸長二尺廣一尺五寸

小ゝゝ高一尺三寸長一尺四寸廣一尺三寸 寸法見

筅 同

稲機 イナキ 懸稲木也

衣冠

畚 イシミ

艨艟 漢語抄云以久佐布祢 戦艟也

齊鍬 イムクハ 神祇式云

光彩 付繪丹并染色具

色 イロ 付繪丹并染色具所也

彩 同 イロトル 光彩也

顔 イロ

采 イロ 倉庫也 已上同 繪五ー也 光ー也

白 イチシロシ　潔 イサギヨシ（瀄）　淨　皭　緁 已上同

方角
乾 イヌヰ 亦作 乹　戌　巔 イタヾキ 山頂也　蹴 椒（椒） 藿音 イ 蕉 巔　𧾷顛（顛） 同上

員数
一　壹　五 イツヽ　伍 同　五十日 イカ

一 櫟 撲 イツチヤク　寸白

辞字

祈 イノル　祠　禱 祭也 讀也　頋

呪　贖　闕　視　峙

祝 已上祈也　祝 イハフ　榮　崇 崇イ 丨神也　喝 揚 已上同

忌 イム　諦　禁　諠 謱　弭

謚　嚌 齊　懿 懿　坊 已上同　徇 丨名丨利

経　緦　勞　勤　處

忙（忔）　遑　殉　◦劇（劇）　◦懆 悒

挑　惓　膚　◦劬 劬（劬）　閑 己上 イトナム

鑄 イル｜銭 等也　鎔　◦妖 妭　活　泥 己上 イル

入 イル　襲　◦福 偪　鹼｜地也　委 〻

滅　容 ｜身才也　注　◦沒（沒） 日｜　閇

闕　◦盛 盛　函　漸 法水東｜ 是也　畜

逝　巽　涵　内 出｜　納 獻｜ 己上 イル

射 ｜弓　弋 己上 イル （｜）射　◦◦浚 沈 イル 以采｜沙也　灌 同 造也 寫也 盡也 ◦業 寀也

十六ウ

煎 イル 以火ー也
燋
焦
炒 イル 大豆
熬 イル 已上同

輸 イタス 應ー本⊙
出 イダス ○大イ 大類日月誘○二三叉
△升(汗) 升イ 月併加日

徒 イタヅラ
△憎(𥛚)
△指(揩)
逗
△憎(穡)

虐 已上 イタヅラ
誘 イツカル
享 イノフ
競 亦作竟
衛 已上同

挑 イトム
○詑 訑
掩 已上 イトム
厭 イトフ 亦作厭
○斁 斀(斁)

○愿 慼
○歎 歎
罬
○饑(飫)
餚

飽
殉
○獸 獸
饜
射

壓 已上 イトフ
去 イヌ ー年ー日類也
○徂 徂 日月ー易也
往 已上同
至 イタル

假 奄 屆 ◦遷(莛) 篷

迵 抳 造 遠 廣

◦噎(庢) 蒋 ◦嘩(華) 濱 ◦懲(懲)

數 迶 捉 懷 抱

進 惆 ◦噡(磨) 楊 放

周 格 沖 ◦砧(砧) ◦唳(戾)(戾)

摧 詣 傷 ◦嗤(屆) 麻

◦㕓(屋) ◦㖂(戾) 郊 ◦屬(廣) 眉(屆イ本)

㖃(㡳)　前　致—車　靳　致 已上 イタル

僋 イラス　擧　息　量　嚂 盛

販　遠　藏　偵 已上同　慰 イカラシ イカラシム (チン)

酷　烈　嘖 已上 イカラシ　懐 イタシ　抱

佐　㘓(圖) 㘓圖 ナシカ　啦(粒)　携　苛 イラヽク イライラ(三)

萱　荊　蕤 已上同　言 イフ　云

諭　嘼(署)　曰　齊　吻

宣　猎　噵 寸 導　道　傳

謂已上 雖イヘトモ 警イマシム 誡一人也 諷

戒 衜 勗 衝衡 箴

儆 哧勅 競 戾 懲

喇惻 嚮誓 肅 藏 肆

慼 忌已上イマシム 戴イタヽク 頂 喟體

戴 吼(冠) 冠 啄冢 碣已上(碣)

慈イツクシ 營 投 務 除

出 惱 懲愍 悴 悍惺

淨イサギヨシ　清　潔　屑已上イサギヨシ　竊(竊)イマアリ　器不吉是也

優イウナリ　幾イクバク　嗚(烏)名イフクノ　弥イヨヽ　逾

慊　漸　盛(盛)　愈(愈)　轉

遂已上イヨヽ　争イカデカ　曷　奚　盡(盡)

佴　奈　焉(焉)　胡　那

著　僭何也已上同イカテカ イカンゾ　聊イサヽカ　俚　豰已上同

未イサダ　傷イタム　痛同　況イハンヤ　矧

喲(㖃)已上同　於イツクソ　惡　在　安イツクソ　ヽ在

炤(円)　揖(イッス)　休(イコフ)　乃(ナイ イマシ)

重點

家々(イヘイヘ)　色々(イロイロ)　了々(イトシ)　營々(イトナム)

一々(イチイチ)　泯々(イナムス)　殷々(インイン サカリナリ 車音鳴)　猗々(イイ ウルハシ)

隱々(イムイム 車音)　悠々(イウイウ カレヨル 奥遊皃)

疊字

以聞　以解　以往(往)　以來

以降　以東南西北准也　以前　以後

有息 有德 衣冠 戸 倫 美 怨 労 人 論(ロン) 同 慶 見 恨(根)

年 通 褱 食 遁 匡 延 免 異方 類 母 域(イキ) 郷 氣

截 有善己 帯 草 逸 截 長 賞 朝 術 會 嗛様(トキリン) 治(イチ) 因縁

功 隱居(隠) 首 武 民 姓 能 體 開 意趣 果 據

労 者 賢 優艶(イウエン) 恒(イウレユフ) 淫 物(イフフ) 文 氣 国 畧 故 准 修 注二

姻娅イア　醞褥作○　漪瀾イラン(三)

禋祀インシ祭也 文選云祭ニ一　湮滅インヘツ○却ロフ○チリ　融朗イウラウ明貞

怡(治)　怡畬イミア○ア、ミチ　蚲蝛イヰ　伊欝イウツ　壹欝

殷阜イフ　由緒イウシヨ　咦狄　秋毫イサカ

不知イサシラス　：覓　：貝　：用　：審　：使　：幸　：實　：歟

孰與イツレ　何焉同　去イサ　歸去同　何為イカニセン

不審イフカシ　未審同　森然イヨヽヘ　所謂イハユル　如何イカン

云何　奈何　其奈已上同　何況イカニイハンヤ　幾處イツハクハ

幾多 イクソバクゾ　幾許 イクソバクリ　多少 同　猶豫 イウヨ　屑小 イサヽカ

淫泆 イムヽレツケ　淫雨　飄悠 ヽヽク　聞導 イフナラク　言説 同

長今 イマメツラカシ（アツカシ）　糸惜 イトヲシ　威猛 ヽヽカメシ　器量 同　利鬼 イラツ　齊世

今来 イマヨリユクゾ　何遑 イツレイトマアシ　氷矜 イカリフクル

於何 イカニシテク　不煩 イタツカハシクセス　半漢 イサム

勇堪　沛跂 芨（芰）已上同　刑罰 イマシム　禁固 イマシム　警策 同

好色 イロコノミ　固辞 イナフ　弋射 イツル　疋父 イヤシ　輿販 イラシ

出擧　班給 已上同　縁繳 イロキヒシ　潔齋 イワキヨシ　清澄 同

欺犯 イ添ヲ ー朝章　　　忙繁 イソガハシ

太神宮事

一天照太神 伊奘諾 伊奘冊尊ト日神ヲ伊依（倍） 函 則是太神宮也

元正天皇御宇養老五年始被立伊勢幣之

内宮称太神宮

外宮称豊受宮

天武天皇十三ー甲申天皇行幸天照太神宮即三箇日御座畏給

日本紀云延喜二年壬戌太神宮始置太宮司

寛平四年壬子始置検非違使一人自此自由加増云云

諸社

伊勢太神宮　垂仁天皇御宇始于伊勢國伊鈴川上崇依託宣斎王同始也

太神宮御座　在度會郡宇治郷五十鈴河上也

荒祭宮御座　太神宮荒魂去太神宮北廿四丈

伊佐奈伎宮御座　去太神宮北二里

月讀宮御座　去太神宮北三里

瀧原宮御座（ハナシ）　去太神宮在伊勢与志摩境山中去太神宮西九十里

竝宮御座　太神宮在瀧原宮地内

伊雑宮御座 太神宮志摩国答志郡云 太神宮南八十三里

所摂社肆拾処之中 官帳社廿五処 未官帳社十五処

瀧祭神社 在太神宮北川邊 但無御殿

小朝熊神社壹處　薗相神社壹處

鴨社壹處　田邊神社壹處

蛟野社壹處　湯田社壹處

已上六處造神宮使奉作

大土神社(十三)壹處　国津御神社壹處

久麻良比神社壹處
津長大水神社壹處
堅田神社壹處
神前社壹處
川原神社壹處
楯原神社壹處
御船神社壹處
猿田神社壹處

宇治山田神社壹處
大水神社壹處
江神社壹處
粟御子神社壹處
久具社壹處
榛原神社壹處
坂手神社壹處
瀧原神社壹處

以上十七處國津神社随破壊時國郡司以正税修造如件

以前祝部等太神宮司占食定任之状移送伊勢國司之

未官帳入田社事 十五所

津布良神社
鴨下神社
小社神社
葭原神社
新川神社
許加利神社
宇治乃奴鬼神社
石井神社
川相神社
加努弥神社

熊淵神社　　荒前神社

那自賣神社　　葦立弖神社

牟祢乃神社

已上内宮

豊受太神宮

度會宮御座　在度會郡沼木郷山田原
去太神宮西七里

多賀宮御座　豊受太神魂去神宮南六十丈

土宮御座　六宮乎多賀宮座前間也長暴郎還宮
之時始被造宝殿也

所攝社十六處

月夜見社　草名伎社

大間國生社　度會國御神社

度會大國玉比賣社　田上大水社

志等美社　大河内社

清野井庭社　高河原社

河原大社　河原淵社

山末社　宇須乃神社

小俣社　　　　　　　　　御食社

右十六社官幣帛宛奉但十三社者国宛料令遣奉於祝又春秋并三度祭者節別祢宜内人等率祝等供奉此祝死闕替祢宜等申送太神宮司即卜食定其後家祓清預供奉事

伊我理神社　　　　　縣神社

井中社　　　　　　　打縣社

毛理社　　　　　　　大津社

出賣屋社　　風神社

右八社未載官帳名但社元料祝進奉但年中三度祭
者　称宜内人等寧祝等供奉此祝同上卜　食
定

石清水

清和天皇御宇貞観二年庚辰大安寺法師行教（十二）
祈請大菩薩奉移石清水男山峯矣
臨事祭事圓融院御宇天禄元年庚午始行之同御時天
元二年己卯始有行幸
延久二年庚戌八月十四日有勅権大納言源隆國同經信権右
中弁藤原隆方外記史以下参石清水宮行放生會〻自今
已後可用此例者于今不絶保延六年庚申宮寺焼亡

武内　一使者

稲荷　宣命紙黄　使四位　三所

下宮　田中

中宮　命婦　四大神黒鳥

上宮　小薄

石上　宣命紙黄　在大和国　使諸大夫

率河　イサカハ子細見于国史

嚴嶋イツクシマ 在安藝國　一岐嶋イツクシマ

神祇官西院坐御座等祭神廿三坐内御座祭神八座内

生産日神イクムスヒ

座摩座祭神五座内並大月次新嘗

生井神イクヰノカヽ

石作神社イシツクリ

山城國乙訓郡十九座内又尾張國丹羽中嶋山田三个郡座又近江國

伊香郡座

石井神社 同内

入野神社イリノ 同内

櫟谷神社イチヒタニ 同國葛野郡廿座内

出雲井於神社　愛宕郡廿一座内大月次相嘗新嘗

出雲高野神社 同内　伊多太（太）神社 同内

石田神社 同国久世郡廿座内 大月次新嘗　又伊勢国多氣郡座

伊勢田神社三座 鍬靫 同内

率川座太神御子神社三座 大和国添上郡廿七座内

率川阿波神社 同内　五百立神社 同内

宅布世神社

伊射奈岐神社 同添下郡十坐内又伊勢国度會郡坐 又若狭国大飯郡座大月次新嘗

伊古麻山口神社（イコマノヤマ）　同平群郡廿座内　大月次新嘗

石園坐多久虫玉神社二座　同葛下郡十八座内　並大月次新嘗

伊波多神社　同吉野郡廿座内

稌代坐神社　同高市郡五十四座内　大月次新嘗

石寸山口神社（イ）　同十市郡十九座内　大月次新嘗

石上坐布都御魂神社　同山邊郡十三座内　名神大月次相嘗新嘗

石上市神社（イハカミノイチノ）　同内

出雲建雄神社　同内

壹須何神社（イチスカ）　河内国石川郡九座内

石切劔箭命神社二座　河内郡十座内

石田神社三座　若江郡廿二座内
又越前国敦賀坂井両郡座

祢刀神社　同内

櫟本神社　同丹比郡十一座
内鍫靫

生國神社　和泉国大鳥郡廿四座内
鍫靫

火雷神社　同国(西)
イナヒカリ

石津太社神社　同内
イハツタノ

生根神社　摂津国住吉郡廿二座内
大月次新嘗

伊佐具神社　同河邉郡十座内

伊居太神社　同内

伊知志豆神社 同武庫郡四座内 大月次新嘗

伊佐奈弥命一座 伊勢国度會郡五十八座内 又阿波国阿波郡座 大月次新嘗

雷電神社 同内

伊積上神社 同内

石前神社 同飯野郡四座内

稲葉神社二座 同壹志郡十三座内

石積神社 同内

飯野神社 同河曲郡廿座内

伊佐和神社 同多気郡五十座内

伊呂上神社 同内

意悲神社 同飯高郡九座内

伊奈富神社 同奄藝郡三座内

石神社 同鈴鹿郡十九座内 又陸奥国桃生郡座

伊賀留我神社 同朝明郡廿四座内

石部（イソヘノ）神社二座　同内又越前国今立郡座又加賀国能美郡座又近江国蒲生郡座又越中国射水郡座又但馬国出石郡座

石刀神社　尾張国中嶋郡　卅座内

稲木（イナキ）神社　同丹波郡　廿二座内

伊多波刀（イタハトノ）神社　同春部郡　十二座内

伊副神社　同愛知郡十七座内

稲前（イナサキ）神社

石巻神社　同八名郡座

入見神社　同（般若）磐田郡　十四座内

伊富利部（イフリヘノ）神社　同葉栗郡　十座内

伊賀賀原（イカカハラノ）神社

伊奴（イヌノ）神社　同山田郡十八座内

射穂（イホノ）神社　参

石蔵（イハクラ）神社　同宝飯郡六座内

邑勢神社　遠江国長上郡

生雷命（イクイカツチノ）神社　同内

飫津佐和乃神社　同庵原郡五座内
伊河麻〻〻神社　駿河國有度郡（イスカ神社ト云フ不見）三坐内（五ニ）
池田〻〻　同内
伊豆三嶋〻〻　伊豆國賀茂郡廿六（八）座内名神大月次新嘗
伊賀牟比賣命〻〻　同内
伊古奈比咩命〻〻　同内名神大
伊大豆和氣命〻〻　同内
伊波例命〻〻　同内

伊豆奈比咩命〻〻　同内

伊波乃比咩命（イハノヒメノ）……同内

伊波久良和氣命（イハクラワケノ）……同内

意波与命（イハヨ）……同内

石徳高（イハトタカノ）……同田方郡 廿四座内

伊志夫（イシフ）……同那賀郡 廿二座内

稲宮命（イナミヤノ）……

石楯尾（イハタテヲノ）……相模国高座郡 六座内

伊波比（イハヒ）……武蔵国横見郡 三座内

伊波豆別命（イハテワケノ）……同内

伊加麻志（イカマシ）……同内

伊那下神（イナゲ）同内

石倉命（イハクラ）……同内

出雲伊波比神社（イツモノイハヒ） 同入間郡 五座内

今城青八坂稲實〻〻（イマキアヲヤサカイナミ） 同加美郡 四座内

今木青坂稲實荒御魂〻〻（イマキアヲサカイナミアラミタマ） 同内

今城青坂稲實池上神社（イマキアヲサカイナミイケノヘ） 同内

意富比〻〻（イフヒ） 下総国葛餝郡 三座内

稲村〻〻（イナムラ） 常陸国久慈郡 七座内

石船〻〻（イハフネノ） 同那珂郡 七座内

石座〻〻（イハクラノ） 近江国滋賀郡 八座内

稲田〻〻（イナタ） 同新治郡 三座内

蘆井〻〻（イヲ井） 同栗太郡 八座内 又丹波国氷上郡座

意布伎（イフキ）（チシ）〃〃　同内　又美濃国不破郡座又丹後国熊野郡座又出雲国出雲郡座

石部鹿塩上（イハヘカシホノ）〃〃　同甲賀郡　八座（内）

伊賀具（イカクノ）〃〃　同伊香郡　廿六座内

伊波太岐〃〃　同内

伊波乃西〃〃　美濃国各務郡　七座内

沙田〃〃　信濃国筑摩郡　三座

伊豆毛〃〃　同水内郡　九座内

伊加保（イカホ）〃〃　上野国群馬郡　三座内

飯道〃〃　同内

意波閇〃〃　同内

意太〃〃　同内

生嶋足嶋（イクシマタルシマ）（朱点ナシ）〃〃　同小縣郡　五座内

伊波止和氣（イハトワケ）ゝゝ　陸奥国白河郡七座内也

飯豊比賣（イヒトヨヒメノ）ゝゝ　同内

伊豆佐賣（イツサヒメノ）ゝゝ　同宮城郡四座内

石神山精（イハカミノ）ゝゝ　同黒川郡四座

伊達（イタテノ）神社　同色麻郡座　又丹波国桑田郡座

伊去波夜和氣命（イサハヤワケノ）ゝゝ　同牡鹿郡十座内

飯野山神社（イヒノノヤマ）　同桃生郡六座内

膽澤川（イサハ）ゝゝ　同内

石都ゝ古和氣（イハツツコワケ）ゝゝ　同内

飯豊ゝゝ　同賀美郡二座内

石手堰神社　同膽澤郡七座内

磐椅ゝゝ　同耶麿郡座

飯豊和氣神社　同安積郡　三座内

伊豆波神社　出羽国田川郡　三座内

石按比古神社　若狭国遠敷郡　十六座内

石按比賣神社　同内

伊牟移神社　同三方郡　十九座内

伊多伎夜神社　越前国敦賀郡　四十三座内

伊部盤座神社（磐座）　同内

磐座神社　同大野郡　九座内

弥和神社　同内

弥美神社　同内

伊佐奈彦神社　同内

出水神社　加賀国江沼郡　〇廿十一座内

石瀬比古神社（イハセ）　能登国鳳至郡九座内

石倉比古神社（イハクラヒコ）　同上

伊久礼神社（イクレ）　同蒲原郡十二座内

市川神社（イチカハ）　同沼垂郡五座内

石船神社　同磐船郡八座内

飯持神社　佐渡国雑太郡五座内

出雲神社　丹波国桑田郡十九座内　又周防国佐婆郡坐

石穂神社（イハホ）

伊咪（未）神社　越中国[illegible]郡坐

伊加良志神社　同上

石井神社　同内

出石鹿岾部神社　同船井郡十座内

岾部神社　同氷上郡十七座内

伊都伎神社　同内

伊也（イヤ）神社　同何鹿郡十二座内

弥加宜（ミヤカキ）（宜）神社　同内

板列（イタツラノ）神社　同内

伊豆志弥（イツシ（ヤ））神社　同熊野郡三十一座内

伊由神社　但馬国朝来郡九座内

伊尼神社　同内

生野（イクノ）神社　同矢田郡四座内

伊智布西（イチフセ）（セ）神社　同後国加佐郡十座内

弥刀（ミヤト）神社　同与謝郡十座内

稲代（イナシロ）神社　同丹波郡九座内

伊智神社　同気多郡内

志都美神社 同七美郡 十座内
伊蘇乃只〻〻（イソノ神社字書〻〻） 同八上郡 十九座内
伊和〻〻 同高草郡 七座内
伊努（イヌノ）〻〻 出雲国出雲郡 五十八座ノ内
印波（インハノ）〻〻 同内
伊佐賀〻〻 同内
伊我多氣〻〻 同仁田郡 二座内
伊勢命〻〻 石見国穏地郡名神大

意上奴神社 因幡国法美郡 九坐内
板井（イタイノ）〻〻 同氣多郡 五座内
伊佐波（イサハ） 同内
意保美（オホミノ）〻〻神社 同内
伊是〻〻 同内

伊和都比賣 〃〃 播磨国明石郡九座内
又同赤穂郡座

家嶋 〃〃 同揖保郡
七座内

石上布都之魂 〃〃 備前国赤坂郡 六座内

石門別 〃〃 同邑野郡 八座内
此神二座

忌宮神社 長門国豊浦郡
三座内

伊久比賣 〃〃 内

忌部 〃〃 阿波国麻殖郡
八座内

伊曽 〃〃 伊予国新居郡二座内
名神大又伊予郡座

壹粟 〃〃 美作国大庭郡
八座内

伊都伎嶋 〃〃 安芸国佐伯郡
三座内

伊太祁曽 〃〃 紀伊国名草郡
十九座内

伊勢久留麻 〃〃 淡路国津名
郡九座内

伊加加志 〃〃 同内

伊豫〃〃 円伊予郡 四座内　伊豫豆比子命〃〃〃 円内

伊勢天照御祖〃〃 筑後国御井郡三座内

伊奈久比〃〃 對馬国嶋上郡 十六座内

已上見延喜式

諸寺

石山 イシヤマ 天暦二年戊正月二日焼亡観音像為灰燼扶桑略曰
東大寺大仏料為買黄金企遣唐使然宇佐神
宮託宣云可出此土者世傳云天皇差使於金峯山令祈黄金
之將出矣託宣云我山之金慈尊出世時可用也但近江

国志賀郡瀬田江辺有一釣老翁石座其上作観音像敬致
祈請黄金自出焉仍訪求其處安置如意輪観音像今石
山寺是也沙門良弁為師祈禱件事其後不経幾日従陸奥国
献黄金件金先分百廿両奉宇佐神宮也

石藏　東ーー　西ーー

詳士

石間（イハマ）

飯室（チシ）イヒムロ

一乗寺

伊豆山　号走湯山東明寺是也

舊記云此寺是百姓艾柄之堵泉即漁戸之庭也至天長末疾疫頻蔓人郡悉亡舴艋朽岸脚店家成茂林永（承）和三年丙辰之秋有一逸士号曰賢安甲八代縣人也修行之次遊来此地宿一樹之下通五更之間夢中有靈異之人示之汝知我不我是地主号走湯権現汝留於此住持修行云々本尊長七尺四寸千手観音像也是賢安剃除鬚髪也遂為沙弥　永離三毒堅持十戒是昔日之草創也

（承和ヲヨシトス）

一字金輪

國郡　付名所小路名

和泉國　管三　天平十二年(一上)并河内國了
後復為和泉國　女帝

大鳥　和泉府　日根

本田千五百六十九丁六段　上二日　下一日

伊賀國　管四

阿拜アヘ　山田　伊賀

本田四千五十一町一段四十歩　上二日　下一日

伊勢國　管十三

桑名クハナ　員辨イナヘ　朝明アサケ　三重ミヘ　河曲カハワ
鈴鹿スヽカ府　奄藝アムキ　安濃アノ　壹志イチシ　飯高イヒタカ
飯野イヒノ　多氣タケ　度會ワタラヒ　大神宮坐此郡
本田一万八千百三十町六段二百四十五歩　上四日　下二日

伊豆國

管三
参期上日
田方タカタ府　那賀ナカ　賀茂
本田二千七百十町四段十歩　上十二日　下十三日

出羽國

管十一
最上　村山　置賜ヲイタミ　雄勝ヲカチ
平鹿府　山本　飽海アクミ　河邊
田河　出羽　秋田
本田二万六千百九十町三段五十歩　上四十七日　下廿四日

因幡國

管六

〔巨〕邑濃コノ　法美ハウミ府　八上　知頭　邑美
高草　氣多
本田七千九百十四町八反二百八歩　上十一明　下六明

出雲國

管十
意宇オウ府　能美ノギ　嶋根　秋鹿アイカ
楯縫　出雲　神門　飯石イイシ
仁多　大原
本田九千四百三十五町八反八十五歩　上十五日　下九日

石見國

管六
安濃　迩摩ニマ　那賀府　美濃
邑知オロチ　鹿足
本田千八百八十四町九反四十二歩　上廿九日　下十五日

伊預國 管十四

宇麻(ウマ) 雑居 新一ニ七井見走書式 周敷 桑村(クハムラ)

越智 府 野間(ノマ) 風早(カセハヤ) 和氣

温泉(ユ) 久米 浮穴 伊予

喜多 宇治

本田一万五千五百一町四反六歩 上十六日 下八日

膽吹山(イフキ) 美濃國不破郡 七高山之一也 石間(イハマ) 石藏(イハクラ)

妹妹山(イモセ) 一條 今出川 五辻

石影 七瀬其一也

官職 付僧女官

市司 東｜西｜ 正市令 佐市丞
令史 市録事
已上東西同前
文徳天皇御宇始置東西市司

醫博士 二人

已講

三會事
維摩 興福寺十月十日 最勝 薬師寺三月
御齋會 大極殿正月十四日 法華最勝 大乗會
国史云凡毎年十月興福寺維摩會屈宗優学安
優長果五階者爲講師明年大極殿御齋會問

以此僧三月薬師寺最勝會講師名同請之経此
三會講師者依次任僧綱謂之此之又承和二年勅以
経于興福寺維摩會講師之僧宜為宮中最勝
會講師永為恒例

姓

石川イシカハ　犬上イヌカミ　池田　石上イソノカミ　礒上同
伊勢已上朝臣　池原　池上真人或宿祢
入間イルマ　伊福部イフクヘ臣ヤツコ　齋部イムベ　出雲イツモ已上宿祢　廬原イヲハラ
市往イチユキ　石見已上公　生江イクエ　櫟井イチヰ臣ヤツコ　生部

伊賀　的イクハ　池後イケジリ　出庭イデハ臣ヤツコ　伊与イヨ

伊香イカコ宿祢　生夷イクス　礒部已上臣ヤツコ　伊吉イキ　石野

出水　石作イシツクリ已上連ムラシ　池田首オフト　池邊　壹岐イキ已上直アタヘ伊岐イキ

糸井已上造ミヤツコ　生江已上造　今木連　石城宿祢

一志　不知山イチヤマ　五百井イサヽイヲ井

家イヘ 宅 弥イヤ 宬ヲ 今イマ

四二ウ

未明イマタアカ

呂

天象

禄存星

地儀 付居処并居宅具

楼

栖鳳楼

蒼龍ー

翔鸞楼

白虎ー

竜尾道

東西各

八省南外門

東西ー

棲霞ー　皇楽院　東ー　霽景ー西

殖物　付殖物具

動物　付動物躰

鹿　六畜　牛馬羊犬鶏豕也

但諸家説多以不同或牛馬羊猪狗鶏
或牛馬狗猪鵝鶏或牛馬驢豕狗奥云云

人倫 付鬼神類

論匠 大男ロクム 冠着赤狩衣白袴 大嘗會供奉人名也

人躰 付病瘡類

瘻瘻口 六府 俗作腑 大腸心府 膀光肝府 胃脾府 三焦腎府 膽肝府

六根 眼耳鼻舌身意

人事 付術藝并産業

禄 論ロン亦作倫 弄殿樂 黄鐘調 弄槍ロウナウ 壹越調

飲食

雑物

轆轤　°鋋 鋋　鏇 円　艫 ロ 舟ー也 郎土反

櫓 円 俗用此作也　爐 円 火ー也　緑衫 ロンサウ ロウサウ

籙 圖　禄物　論 文右　褸 ロウシ　麗子

籠子 己上円　𨏉 ロウ　襱 ロウ 袖也

光彩 付繪丹并染色

重熙

録々 ロクロク 因人成事也 録又作碌

碌々 諭少也 々々如玉

朧々 ロウ 不明月貌

呂字

露膽 々驛 々顕 々弁 々地

々雑 々簞 々冥亮 々臺

論義 々談 々断 々定 々奏

々詩 々匠 ロンシヤウ 々人 々訳

路次 々頭

々馬

樓臺 々閣 々部

々殿 々櫓

轆轤 ロクロ　陋姿 ロウシ イヤシキスカタ　驢騾 ロラ　鸕鷀 ロシ　螻蛄 ロコ 螻句

朧明 ロウメイ (リヤ) 月貞也　籠居 ロウキヨ　鹵簿 ロフ 上六音 魯 下 北支反 鹵貞也

諸社

鷺祭 ロノマツリ シロキミツトリ

諸寺 付霊験所

六波羅密寺

空也上人應和年中所草創也本号西光寺上人
以厭下界願西上也上人入滅之後大法師中信
未住此寺專修兼善兼行六度故改本名更号六波羅密
寺也為天台別院論演円宗教法是一以四有法華講本以
此処為
講師肆

六角堂

縁起云六角堂如意輪観音淡路国巌屋ノ海ニ
小韓櫃ニ入テ作差鐵被打寄也而聖徳太子
拾取開見之処即如意輪観音也寿持佛太子与守屋大臣
合戦之間誓願云戦若如ハ勝了ハ可奉建立四天王若我
有利如思勝了欲建立四天(注)王寺ノ採材木於山城国愛宕杣
之間暫奉居本尊於多良樹樹浴水ヽヽ了如本奉取

（札ハ於迹 草体）

本尊全不發樹枝給祈請夢云吾ハ為汝本尊既經七世於今者此處可利益蠢々衆生也即欲建之御堂於此處經始之処自東一老翁出来太子問件老翁云此地欲建立小堂材木不日○樅（椝）得事如何即答此傍有老楊樹一本每朝紫雲下降此樹者翌日早旦向給件樹下見之果如老翁之言即見之切臥以件樹一本奉建六角堂一宇畢其後遷都之間造宮使奏云京都欲打丈尺分㝎（竟）小路之処有六角小堂一宇可分定小路中心可當之所謂聖徳太子建立六角堂是也勅云可奉壊遷御堂於他所仍行事官峯引卓志天來臨見之毋一堂宇奏此旨重遣勅使云是常住此所有御志者南北之間少可令大給乎時天下俄暗然成奇之処五丈許令入北給仍分定六角小路了靈驗殊勝也於此本縁起者有民部省云云

六觀音　千手　聖　馬頭　十一面
不空羂索　如意輪
六字明王

國郡　付名所小路名

六角
六條坊門　六條

官職　付僧位女官

録　在八省

漏剋博士（ヒヨリノハカセ）　在陰陽寮

姓氏

名字

波

天象 付歳時

破軍星 七星内 午年人　彗星 ハヽキワシ　攙槍

霸 ハツレモ　晴 ハレ 天ー　霽 雨ー　星 已上同

抄云ハヤチ（于） 又ノワキノカセ　霋 音妻 說文 霽霨　春 ハル

白藏 秋名 亦云収成　翠潢 ハレタルソラ

〔絢〕

嗡絢佝 已上同

暴風 ハヤテ 漢語

八月 ハツキ

碧落 同

地儀 付居処并居宅具

濵ハマ 水際也　沙汰同　林ハヤシ 説文云平地有叢木　原ハラ 毛詩云高平曰ー

平同　畠ハタケ 白田二字也作一字訛　陸田見格式

壠已上同　畷(畷)ハタ 見唐韻　畬　畚已上同 須諸抄云夜佐波太

墓ハカ 多武峯 宇治　愛宕護 小野　昌野 後小野　後𦾔野 後宇治　謂之八墓

(以下一本无)

(布密二ノ訛)

埴ハニ 釈名土黄而細、(密)埴曰埴和名波迩　灰ハヒ 死火也　橋ハシ 水梁也 通也

橋 水上横木 イ本所以渡也　梁音良 水橋也　階音皆 ーー級也 階也 宅也

除 玉階　堦音皆 ー砌也　陛 階ー也　椅 地也

石橋 尓足注云舡　浮橋 魏畧五行志云洛水浮橋　土橋 唐韻云圯

獨梁 淮南子云獨梁縦横 一本之梁也 已上ハシ　遊 ハ 犬｜　場 ハ 弓

房 ハウ 僧｜ 女｜　坊 ハウ 香宮｜ 内敢｜　坊門 教業坊 豊財｜

（「衆」六 「寧」ノ 訛）

三条東西 永昌｜ 永寧｜ 四条東西 宣風｜ 宣義｜ 五条東西 淳風｜ 光徳｜ 六条東西

安衆｜ 毓財｜ 七条東西 延嘉｜ 八条東西 陶化｜ 開建｜ 九条東西

柱 ハシラ 音注 木可云東柱豆加波師良　切柱　楹 音盈　刹｜ 柱也

標 破風ハフ　樘 已上ハシラ　欄額 ハシラヌキ　柱貫 ヌキ　搏風 ハフ

（ハヘキ）

榱 ハヘキ 音衰　椽 屋桷也　掩 已上ヌキ 音俺椽也又曽毛　端込 ハシコメ 鹿苹

礬石 ハンシヤク　牓示 ハウシ

殖物 付殖物具

萩 ハギ 音秋　蕭　蓁　蕆　鹿鳴草

（茅ノ訛）漢語抄 茅子 亦作岑草名新撰万葉集用之

芳宜草 已上国史用之　荷 音何 ハチス 俗ハス　芙蕖 蓮花名也

閑曰芙蕖ニ青 未舒曰菡萏　芙蓉 天嗒（容）花 已上同　蓮子 ハチスノミ 其子也

蓮 其子曰ー ハチスノミ　菂 同　嗒 蓮中子也　藕 ... 揚 ... 音 ... 水芝丹

「小根」ハ本草和名ニ「小根」名茎大根名藕トアル「小根」ヲ誤リ記載セタルナリ

(コレハ二字ナリ)水曰　靈芝　澤芝　○芙蕖(英)　菡萏　已上五名

出荊名芙　ハチスノハナ荷花亦許也　水華　出古今注　加實

蜦賈　蓮華　水根(小)　石蓮　里君出拾遺已上十一名ハチスノミ見本草

藕　其根也　荷藕半節ノ本ハチスノ子　○蔤(蓉)　音密其本也　ハチスノハ

変　蒻　已上同　茄　其莖也　ハチスノクキ　蕸　其葉也　ハチスノハ　菡○萏　萏作菡非也

○藹(菂)　旋花　ハナヒトリケ　大戟　薊根花　蘇敬注云根似薊故以名之

○金沸　美草　山薑　出陶景注　○蘦(薑)旋　出蘇敬注　又名アフナ

○鼓(鼓)子花　出拾遺　已上七名　ハマヒトクサ　見本草　花薄　ハナスゝキ　詳見須部

馬先蒿ハコクサ　馬矢蒿　爛石草　出陶景注

虎麻（蓝系）　馬新蘿蒿　出蘇敬注已上五名ハ、コクサ　見本艸（緩）

蘩蔞ハコベラ　蘩 音敷 或曰 繁縷蔓生也 雞腸草也

鷄腸草 腸（イ）円 見本草　菴蘆子 ハ、コノミハ、コ 或本無子字　敗蒲席 ハイフセキ

フルキカマ　芭蕉 ハセヲハ、甘蕉根　互葉本母　籠草 五葉母也

ニモ　烏蘞草 五葉本母也　巴蕉　羊角蕉 似羊角

羊乳蕉 似羊乳　蕉葛　巴苴 已上十名 出疏文

紫房　名金牙　已上二名出兼名苑　牛乳蕉 形似牛乳出疏文 見本艸

薄苛（荷）分　防風 バマスミシ ハマスカナ ハアニカナ　銅芸

囲草　百枝　屏風　蔄根 仁諳 音菅　百蘆 仁諳 音悟信

楊畲樣 音非　遺草 出蘇名苑已上八名ハマスカナ 又ハマニカナ見于本草　莞華 ハナニレ ハマニレ

蔦荊寳　小荊 蘇敬注云此牡荊也 已上二名ハアハヒ見于本草　（莞見ハアニレ）莞華（コノ朱字何ニヨレルニカ）

雲母貝 ハマサヽケ 已黄黒似豆　天豆 同　（貞）貞實　（芸）雲英

雲母 ハマサヽケ 菌名也出蘇敬注已上三名見于本草　天名精 ハアハクサ　麦句薑

塩梅貝也　蝦蟇藍 蘇敬注云状似藍故以名之　豕首

天門精　玉門精　彘顱　蟾蜍蘭 蘇敬注云香氣似蘭故以名之

覬
稀薟
狶首 仁諝音虛宜反 已上二名出陶景注
鹿活草

天蔓菁
地菘 已上三名出蘇敬注 已上四名出本草 ハマツカナ 又ハマフクラ

茈胡 ハマアカナ又云ノセリ 蘇敬注云茈是人古柴字也
地薰
山菜
。茹草（茹）

葉名芸蒿白。蒻（蒚）
陶景注云茈胡也 仁諝音若
茈薑

莨
茈草 蘇敬注云紫胡是也
山梨 出雜要決已上九名出本草 ハマアカナ 又名ノセリ

葶藶子 ハマセリ 亦アレナツナ
蒺蔾 ハマヒシ
茨 同

蒺蔾子
旁通
屈人
止行（行）

。犲羽（犲（我））
。升推（推）
即梨
茨 楊玄操音

五三ウ

薑 俗云ハシカミ（ハチハチカミ 一本ナシ）　蘵 已上 ハジカミ　續斷 ハミ 又ヲトノヤカミ　含水藤 同

種子 ハタモノ　櫻桃 ハカ　朱櫻　胡頽子 淩冬不凋

朱桃　麦英　楔 章顆反　荊桃 已上四名出 紙菓性

棣子 味酸出 雀梅　含桃　荊桃　麦桃 已上三名

出集名苑 已上十一名ハ・クノミ・ユスラ・カニハサクラノミ　巴戟天 ヤトトイ

見于本草

動物 付動物体

鳩 ハト 出ー　鴿 同 家ー　鳩鴿 頸短灰色音　鵄 頸細斑 駁駮音 〔斑〕

（「音」ハ「者」ノ訛）

〔和名抄ニヨルニ「傑」ハ「繰」ノ訛〕

鰐鱺奐　本草云鰐鱺一音翳翁波之加美伊拝

蜂　蜂　ハチ　蠭人出也

露蜂房　ハチノス　穫鼓注云樹上得風露者

百穿　蜂窠　仁諝音科　蒹露　出太清経已上五名　オホハチノス見本草

蜂子　ハチノコ　蠅　ハヘ　蠅虎　ハヘトリ　かズ　似蜘蛛恒捕蠅為食者也

蠅蝗　已上　ハヘトリ　（蚖）　蛆　ハヘノコ　亦作蛆蝍子乳肉中也

蝮　ハミ　蝮也一名反鼻俗或呼蚰為反鼻其音片呢尾　反鼻

蝮蛇　青蛙　赤蝗　仁諝　音連　廣領　二種在人間已上三種出陶景注

蠑螈　蠑　黃頰　螻蛇　蚢　已上四名出疏文　蜂蠑　章然

蠆　蜂蝪　蠆（范虫）ハチノコ　蠍　蠍

蝶蜥　断　ハタハタ　蝶螻　已上　ハミ

二音出兼名先
已上八名八、見本草（蠮）

促織 ハタオリメ（ヲ） 聲似急織機　絡緯 同

飛蠓 ハアリ　○蠮螉 蠮　○蠮 蠮 已上同　蛤 ハマグリ　蝌

蜃　含漿蠙 珠母也　蚌 已上ハマグリ　蟹 ハカリ

鰭 ハタ 魚ー也　蛾 ハフ 虫ー也

人倫

母 ハヽ 生ー　孃 阿ー　姥 老母也或作姆　妣 已上同 亡母曰　從母 同

舅 ハヽカタノヲヂ 母ー兄曰大ー弟曰小ー　嬢 ハヽカタノヲバ 母ー姉妹也

外祖母 ハヽカタノヲハ
我母之兄弟子
褢 ハワエ
（ブレハヽメヒノ訛）外甥 母ウノヲイ
妊
半月 ハニワリ 十五日為男 十五日為女之妊也
伴僧
放免 ハウメン 廷尉下部也

姨子 ハヽカタノヲハカコ 云我母之姉妹之子也
従舅 ハヽカタノヲヂヲハ
胎
博労 ハクラウ

外甥母 ハヽカタノヲハ
蠻 南荒外人伴者
娠 已上同
叛逆 ハンレキウ イ本音ー
方相氏 ハウサウシ 鬼名也

外祖父 ヲホヂ 母ニイ
孕婦 ハラミヲフ
儒 ハカセ
破旬 ハスン
走鷹 ハシリワラハ 斉宮式日

舅子 ハカタノオヂノコ 急顧飲也
外甥 ハヽカタノメヒ 姉妹子也
懐任
祝 ハフリ 神官也
来仕 ハレ

博治ハクタ　半物ハシタモノ

人躰　付病瘡類

鼻鼻ハナ　隆鼻也

齃ハナクキ　亦作頞鼻莖也

噎嚏同

塞鼻已上同

擤已上同

齆ハナフサカル　ハナウケタル

齅ハナフタカル

衄ハナチ

猱猱ハクサメ

嗁ハ

齉ハナタレ　亦ハナタレ

嚊同　齈

齇ハナハシラ

涕洟ハナカム

劓ハナカケ

齂ハナヒシ

齃ハカツラ

噴鼻ハナヒル　クサメ

擤

齀同

肌ハタメ

䶑

齆

㞔 ハヤ 今乄米問下字也

玊㙞 同

裸 ハダカ

人事 付術藝并産業

娠 ハラム 妊

孕 懐ー

妊 懐ー

脣

懐

身

胎

藏

胞

脤

胚 已上同

秡 ハラヘ ハラフ 除災求福也

拂癈二音蒲盖歩未二反

㮏 同（稧）

褉

掃 ハラヘ 亦ハラフ

拂 ハラフ

救

箒

撲

擠

除

挓

蠲

攄 攤 攩 洒 滌
槩 拌 攘 擺 擊
清 社 埜 滌 穢
捎 治 留 扞 袖
譸 戛 已上同 解 之云ハラヘス ー陰陽 汗(肝) 魔 入奥也
破 ハ 序ー急也 晴 ハレ 熱ー 廓 ハカル 量 攜
測 量 評 斟 爐
惟 料 忖 詢 材

詥 讃 限 訾 荇

側 㮣 蘊 穴 羨

趐 訪 措 程(一才) 諮

°材(忖) 銓 咕(土) 科 彰

揣 °嘖（覽） °嗺（推） °嗞(茲)（諮） 躾

炭 新 主 度 亍

謀(諆) °諠（諠） 括(己上ヿ) 湌(公) 喰

°啛(唼) 唼 噉 茹 餧(飯一也)

啄 己上同　篆　圖　略　嚴　○盡 盞　辱　覩

謀 ハカリコト ハカル ハカラフ　規　虞　権　○惲 惲（憚）　訾　諮 音姿 諮ー謀也　靦

訃　諏　○喀 揆　誕　暮　諫 己上同　懃　盡 故夏田邦二反

籌　議 親故賢能功貴　猷 ハカル ハカリコト ハカルコト　○詎 証（誕）　廓　罰 ハツス　羞

○箄 笲　誘　稱　謀　咄（恥）ハツチ　愧　怍

顯 忝 券 悔 △搖(遙)

△詬(詬) 恧 懞 懊 嗵(聊)

△醜(魄) 圖 涸 △諮(諺)諕 △詢 詢

謂 僞 醍 囙 怩

懺 差 垢 情 貞 巳上円 八十

奔ハシル 犇 趺 走 逡

△遣(逌)遺 起 騁 椽 驛

驅 駈巳上円 拜ハイス △蹤(蹤)ハタシ 跣

賤（巳上円）一　計（ハカラフ）　葬（ハフル）　劓（ハナキル）　遅（ハキカケ）

天（ハツチラル／ヒラヒキラル）　切歯（ハクヒシハル）　複（ハクハム）顧ト子也　番匠（ハンシヤウ）

（一本）〇コニ入ル　簿博労（博）　古有ーー善相馬也今案俗謂賣買馬者爲〻〻此歟　唄　梵音也　俳優（ハイウ）

白馬節會　光仁天皇御宇宝亀六年始之
長輪暦云白馬又号青馬意何馬性象陽也此日
度白馬見者年中邪氣遠去不起来也亦傳云馬性以白爲本天
有白龍地有白馬是日見白馬者年中邪氣遠去不来
也

〇簿弈（ハクヤウ）（王言）　博奕（ハクエキ）　一心　二物　三手　四勢　五力　六論　七〇謚　八害　謂之博奕　イ本　陸英（ハクエキ）

花宴（ハナノエン）　嵯峨天皇御宇弘仁三年壬辰始之

放生會　国史云養老四年九月百征夷事大隅日向国乱逆
公家祈請於宇佐宮其祢宜相率神軍行征
彼国打平其敵大神詫宣云合戰之間多致殺生宜修
放生會會始自此時

陪臚 ハイロ 平調　　拔頭 バトウ 大食調

汎龍舟 ハンリヨウシウ 水調　　反鼻胡徳 ハンヒコトク 性調

埴破 ハニワリ 高麗樂　　盤渉調 バンシキテウ

盤渉参軍 （三ノ）ハンシキサンクン　　白柱 ハクチウ 角調

放鷹樂（雁鳥） （イ）ハウヨウラク 乞食調

飲食

餺 亦作䴺麪

餺飥 ハクタク 博託二音亦作䬪麦〇飥䴺麪方切名也

梅枝 ハイシ

雜物

袴 ハカマ　襦 短衣也　袴 己上同　襴 袷ー ハクマノ〇マチ（ヒモ）　半臂 ハンヒ

蔣魴切韻云衣名也如字　裓 ハタソデ　翳羽 ハ

如御即位之体女孺差之

本朝式寄王行具ー二〇枚（枚）

白○薑 畫 ハクキヤウ

白○薑 姜 ハクキヤウ 共云 已上三名茶(一)

光彩 付繪丹并染色

縹 ナタ 青黄色

總 ノ

黄櫨 ヘ

方角

初 ハシメ　端 ハシ　邉 ハタ　縁　旦

概　側　測　頭　畷 段(殿)

原 已上同　耳 ハタ 畀ー　可 ハタ 畀ー也　交　洋

緣　鰭 ハタ 已上同 物之畀ー　陜 交 ハサム ハサミ　陜 夾同（夾）　間（ナシ）サマ

分 已上同（ナシ）（ハサマ）　夾

貨數

扞 ハタチ　宰石 ハンセキ 坚斗盛量之器也　斤 ハカリ 十六両為ー　稱 同 重也俗作 知軽

稱正斤両也 稱之所起起於黍十黍為絫 十絫為一銖 六銖為一分

四分為両 十六両為斤 廿斤為鈞 四鈞為石

量 音亮 算經云 短長之度 知軽重謂之稱 知多少謂之量 ー ー 之所ー 、

鐙 ハカリノオモシ（ヨ） 八稱ヨー又謂之權稱

霽
霎
晏
明
臘

朧
○霙（霙）
墾 一辟田也 一田也
閑
治 巳上円

驚 巳上入
驅
走
奔
雞 巳上円

馳 ハス
驛
騰
馭
驚

○驄（驄）
○驊（驊）
騎
跋
騰

逃
踊
逓
驅
驅

○騁 巳上円（騁）
量 ハカル 多キ 数
嶠 一圖
測
慶 又一

計
料
○訾 訾 訾 ○ナレ
商 ハカル 或羊反 一量
評 一 巳上円

°敢 返ルヽ 語也
謨
支
揣 度也 量也
揆 ヽ度也 已上ハカル

遲 ヘユフ
遷
聳
載 已上ハエフ
侍 ハヘリ

陪
°儀 傻
御 已上ハヘリ 見月令
厲力 ハゲム
百

懐
激
勸
剴
°纖 纎

概
邀
僉
礪
猛

勉 已上ハゲム
厲 ハゲし
烈 赤一也 音列 猛也
酷
春

創
嚴
精 (忘)
裂
嶮 已上同

甚 ハナハダ
太
酷
孔 一懐
劇 イ劇

已　尤　殊 已上ハヤク　酒　噴　腕　風 ー牛馬ー(足)跁也　戒

厭(報)　又　拂 拭也 除也 ハラフ　擺　掃　遠　別　綦 已上ハ

好　愬　撤　攘 已上ハラフ ー災　拂 已上ハク　討(討)　遺　縦 ハナツ ー馬也

苦　嗜 嗜　磐　篇 ハク　離 ハナル　携　遣　放

良　嗾(泰)　掃　箸　洒　放　忩　風 ー牛馬也

°𠲜(外)　發 射ー也　拾　行　散

合　°繹(釋)　°擕(攜) 已上同　跂 ハフ 虫行也　蕈 ハフ 葛ー也

蔓 ー草蔓也 夢 ー名　莄 ー草　莚 フイナシ　這(弛)　°弛 施

昆 已上同　椢 ハコ 草木ー　弢　°弛 ハツス 放ー弓 ー弛　弨

彈 ハヒノトモ　說　御　離 已上同 ハツス　遙 ハルカナリ

遐　迥　°眇(眇)　賖　悠

緬　玄 安也 幽遠也 °開淵反 °(因)　遠　曠

°達 遼　懸　邈　遽　逌 迟イ

△穳(攅)　𥁕　達(逹)　訬　遜

迸　△遳(遳)　迣　𢕟　△𥷴(𥷴)

逖　遼　韶　追　希

○△𠎝(𠎝)𠎝　瘗　𨿽(貇)　○嘘 虘　迹

△緜(緜)　閘　緬　杳 巳上同　剥 ハク 一衣一皮

剫　劈　割　割　脫

衝　刮 巳上同 一席是也　吐 ハク　哱 一席　噴

吒　○口虘 嘘　歎 巳上同 一花也　𦽳 ハク 一飙　要

六七ウ

佩
樸
履 ト沓
履 同
着 三上同 丨脊

葛 二三八
滔 丨水
°滔 滔 ハヒコル
混
漫

帶
駝
濕
湯 水丨 洪水丨天
逢（逸）

莛
滔
溢 水丨
悍
憎

諛
筱
°瘀 瘀
則
過

搶
恬
難
°嚅（需）
重

°嗒 㗳
濕 已上同
省 ハフク 息井反
矯
享

育
菸
𡍫 已上同
劉 °ハヲ
刎 ハヌ 斬頸也

騂 同騂イ 馬赤也　剌　媢 ハク 和ー　婈　術

掛 已上同　羽 ハク ー矢也　作 ー矢　鷮　注 已上同 ハス 筈ー弓也

捋 ハク　嘗　諸　爲 已上同　早

逮　遰　迅　風　駃

◦噬（噬）　夙　逾　駈 ハヤム ー馬　疾 同 ー馬

夾 ハサム 古合反　千　攙 紵ー幣帛也 介 ハサム ハサム　鋏

搉　挟　挦　抓 唊 夾 ハサム　交 ハサム

遒　介　押　△嗂（搖）　便

権　落　取　嶽嶽　殆

徂　草　阻　根　備

胎　况　短　戚　基

飢　讃　兆(非)　朔　一

薄　卒　元　哉　甫 已上同 叙生用

之貝也　歎　終(ハテ)　畢　竟 已上同

許 ハカリ　可(可)　約　雅 已上同　配 ハイス

着　叅 ハア(ウ) ウハフ　算 同　憚 ハヽカル　揩 楷

暴 ハウ(五) 俗作曝 サラス

重點

毒〻 ノイ〻〻

泛〻 水皃也 ハウハウ 八〻 六十四

皤〻 鬢眉皃 ハクハク シラカ(五) 婆〻 老姓皃 ハ〻 苞〻 草木盛也 ハウ〻〻

疊字

八挫
〃掛(卦)
〃方
〃座
〃難
伯樂(ハクラク)人名也
〃父
〃舟
末塵
〃刀
〃口ウ
俳佪(ハイクハイ)
〃優
薄暮(ユウクレ)
〃霧
〃俸
〃地
破損
〃壊
〃戒
〃根(ワタクセル)
〃紆(モトヲル)
判斷
〃食
〃行
彷徨(ハウクハウ タチモトヲル)
〃言
馬牛
〃陞

〃嗟怨
〃諦
〃仕
蕃息(ハンソク)
〃推
〃余
〃滅
〃製
〃事
〃定
〃像
反覆(ハンフク)

〃着
〃音
佩履(ハイリ)
〃客
〃衛
〃運
〃討草
盤桓(ハンクワン タチモトヲル)
旁魄(ハウハク ムラカル)
法度(文字民不用ー)
〃坐
〃宅

泊湘　般石　幡蓋　沛艾（茇）ハイカイ 馬イサム也

茅屋ハウヲク　天辱ハウカン　狼狽（犺）ハラハシ　終頭ノテウカタ

聲華ハナアカナリ　嚬権　鹵確　蚊行ハカウ 虫行也

播殖ハンショク　募楚ハニニ　膀示ハウシ　陂虐ハツコ　發元

梅ハツフ ハラヒスフイホ　梅ゝ因果也　沆靄ハンアイ　惘然ハウセン　髣髴ハウヒ

坊避ハウヒ 逃心也（逃）　妄言ハウケン　鼓腹ハラウ……

庖丁ハウチヤウ　訪育ハウイク　飽満

徒跣ハタシ　岌峇ハクノク　兎墓ハカナシ

所難 ハヽカラル　含嬌 ハナラウ　魃鬼 ハトナレ

配偶 ハイクウ 夫婦ヲ云也ムコトリノ事　怙騎 ハワイ　蒡次 ハウレ ナ

畔側 ハンソク　蟠蜿 ハンエン ワタカマル　餺飥 ハウタウ　皰瘡 ハウサウ

霹靂 ハクホク コリノ　蘩蔞　貝母 ハイモア　挽耙 ハンヒツ ヒキサラ

諸社 付霊所

波比祇神 ハヒキ　座摩巫祭神五座内 イカスリノカムナキノマツル

羽束師坐高御産日神社 ハツカシニマス タカミムスヒ　山城国乙訓郡十九座内 大月次新嘗

走落神社（ハシリヲチ） 摂津国島下郡十七座内

波太伎〻〻（ハタキ） 伊賀国阿拝郡九座内
又近江国伊香郡座

林神社 伊勢国多気郡五十座内
又越中国礪波郡座

服部麻刀方〻〻二座（ハトリマトカタ） 同内

畠〻〻三座（ハタケノ シラタ（キ）） 同内

波弖〻（ハテ） 同一志郡十三座内

筥埼（ハコザキ） 延喜廿一年六月廿一日於観世音寺西大門若
宮一御子ノ七歳女子橘温子ニ就御志天 託
宣志天 日當寺講師景忠一可呂志可御支乃有余村又少貮
〔「子」ハ「キ」ノ訛〕
真村朝臣同可白ト 宣云云以此由編ヤ貮鉛呼時貞村朝
臣驚恐天即以奏對セリ 其時宣テ日吾是八幡乃若宮一
御子也大菩薩御語穂浪郡大分宮ニ移住已有三是一

者竈門宮ハ我伯母ト御座ヽヽ大貳藤原相輔ノ朝臣託
宣旨被言上於公家任官符旨　少貳貞村朝臣造之
件廟　官其官符状云　託宣之旨為儲來忌加之外
宮殿燒亡擦壊也　宇其宝殿殊尽美麗者　延長元年癸
未歳從大分宮西遷御佛経已了奉号筥崎宮矣

託宣状云避彼地欲移住筥埼松原有其故昔我天下
國ヲ鎮護シ始時戒定恵筥ヲ彼松原ノ地ニ一所置
ナリ仍其名ヲハ
筥ノ埼トハ号ナリ——
縁起曰[三]筥埼宮在西海道筑前国那珂郡蓋八幡大
菩薩之別宮也傳聞埋戒定恵之筥故謂之筥埼
其処之為体也北臨巨海西向絶域為防異国之来寇垂
跡於此圮潮汐之声常満宮中坤良世余里乾巽七
八許里歟無他木只
青松而已云云

隼神社 ハヤフサ 左京四條坐 月次新嘗

走田神社 山城国乙訓郡

祝園神社 ハウリノカミノヤシロ 山城国相楽郡六座内

服部神社 ハトリヘノヤシロ 大和国城下郡

治田神社 ハリタノヤシロ 同国高市郡

波多神社 ハタ 同内 鍬靫

原大明神 生鎮西元ー天皇之王子也有子細成神云々

波多甕井神社 ハタアカヰ 大和国高市郡大月次新嘗

伯太彦神社　ハタヒコノ　河内国安宿郡

伯太姫神社　ハタヒメノ　同内　登叡

蜂田神社　ハチタ　和泉国大鳥郡

博多神社（搏）　ハカタ　同国和泉郡

服織神社　ハトリノ　同安藝郡十一（三）座内　又遠江国長上郡座

土師神社　ハシノ　同河内郡　廿座内

長谷神社　ハセ　同朝明郡廿四座内　又桑名郡座　又信濃国更級座

波積伎神社　ハリキ　尾張国中嶋郡　廿三座内

針綱（ハリツナ）‥　同丹羽郡　廿二座内

灰寶（イワノ）‥　参河国賀茂郡　七座内

羽豆‥　同幡豆郡　三座内

服織田（ハトリタ）‥　同秦原郡　五座内

波布比賣命‥　伊豆国賀茂郡　廿六座内

波夜多麻和気命（ハヤタマワケ）‥　同内

波治（ハタ）‥　同内

波久奴‥　近江国浅井郡　十四座内

針名‥　同愛智郡　加七座内　前

蜂前（ハチサキ）‥　遠江国引佐郡　六座内

波弥‥　同伊香郡座　又丹波国丹波郡座

波尓布（ハニフ）〃〃 同高嶋郡 廿四座内

花長下（ハナカノシモ）（ミ）〃〃 同大野郡 三座内

祝神社（ハフリ） ヨ 同埴科郡五座内

配志和（ハイシワ）〃 同磐井郡座

波古（ハコ）〃〃 若狭国遠敷郡 八座

波自加弥（ハシカミ）（未点ナシ）〃 同加賀郡 十三座内

速川（ハヤカハ）（未点ナシ）〃〃 同射水郡 十三座内

幡日佐（ハタヒサ）〃〃 丹波国船井郡 十座内

花長（ハナナカ）〃〃 美濃国大野郡 三座内

波閉科（ハヘシナ）〃〃 信濃国更級郡 十一座内

鼻節（ハナフシ）〃〃 陸奥国宮城郡 四座内

波宇志別（ハウシワケ）〃 出羽国平鹿郡 座

幡生（ハタナリ）（未点ナシ）〃〃 加賀国能美郡 八座内

羽咋（ハクヒ）〃〃 能登国羽咋郡 十三座内

速星（ハヤホシ）〃〃 同婦負郡 七座内

幡井（ハタイ）〃〃 因幡国多気郡 五座内

波伎〃〃（ハキノ） 伯耆国川村郡 二座内

波知〃〃（ハチ）（ネ下ハナシ） 同 出雲郡 五十八座ノ内

速谷〃〃（ハヤタニ） 安藝国佐伯郡 二座内

速爾〃〃（ハヤアサノ） 同 勝浦郡 八座内

波良波〃〃（ハラハ） 對馬郡 廿九座内

速玉〃〃 出雲国意宇郡 廿八座内

祝田〃〃（ハフリタノ） 播磨国揖保郡 七座内

波尓移比新（旅）〃〃 阿波国美馬郡 十二座内

早吸日女〃〃 豊後国海部郡 座

八所御霊

吉備聖霊 吉備大臣是也

崇道天皇 光仁二ー廃坊 早良院是也

伊豫親王 崇道天皇御子

藤原夫人 伊与親王母

七七ウ

藤大夫 太宰少貳兼右少将藤廣嗣坐肥前國松浦郡云云

文大夫 文室宮田麿

火雷天神 恒貞依見謀反被廢坊

天平十二年九月謀反被誅字合ハ第一子也

鎮花祭 ハナシヅメノマツリ（チン）

防解火災祭 ハウクヮイクワサイ

八卦諸神祭 ハッケシヨシン

買命祭 ハイミヤウ

耆牟羅王祭 ハンコラワウ

諸寺 付靈驗所

長谷寺 ヽセ 豐山寺一云異名也

日本紀云養老六年始造長谷寺願主沙弥道明俗姓六人部氏養老三ー大和国城上郡始建之同四供養導師行基并

縁起云於長谷寺有二名一者長谷寺二者後長谷寺也其差別者十一面堂西方有谷其谷西岡上有三重塔并石室佛像等是本長谷寺也是弘福寺僧道明建立也彼石室像下在之縁起文其道明六人部氏人矣谷東岡上在十一面堂舎是後長谷寺也依沙祢徳道之願藤原北臣来拝大臣之時奏聞朝庭奉勅建立之也ゝゝゝゝ為奉造佛像従近江国高嶋郡三尾崎山流出霹靂之木伐取挽縦八木衢而依彼木祟井門子并父母死去矣爰少孫徳道長眾古老刀祢向請取件木長谷山寺東峯挽置經多年雖

求造佛像難得之間藤氏北臣被大知国班田勅使過此勅使貝披中佛像勅使親佛新木奏聞聖武朝庭申下官物奉為聖朝造立斯像山寺也子細之貝存障子文也因茲知本縁起也

峰岡寺（ハチノヲカテラ）　今廣隆寺是也（チシ）　縁起云佛像者弥勒像也　十五—日月可—夜火失

△班（斑）鳩寺

百濟寺　在河内国　推古天皇廿四年秋七月以惠妙法師為寺主此天皇以前建立寺也見国史

土師寺　ハシテラ　号道明寺　土師氏寺也俗存菅原本姓菅家氏寺也

白馬寺　白馬負経来因以為名大聖記上（三）
崇神天皇請此寺向二法師稽首
則嘆訖〻〻〻見扶桑畧記

橋寺　格云件寺故傳正行基建立四十九院之其一也然尋本意為泉河假橋所建也而河之為體流汝安
水橋梁難留毎遭洪水往還擁滞仍為渡人馬云〻

八部院　在法華三昧堂西尾上
方三間室
安置妙見菩薩像一体居高一尺五寸　梵天帝釈四天
王像一体並高一尺五寸八部尊像

般若寺　観賢僧正本願

八齋戒　一昼夜持也

一不殺生　二非不与取　三禁行

四不虚誑語　五不飲酒　六不塗餝香髪歌舞視聴

七眠坐高廣嚴麗床座（床）　八非時食

波薮仙（ハソ）（ハウセン）　馬頭観音

八宗

八講　本朝事始云延暦十五年大安寺僧栄好天
骨肅愛同法之哀有病患之日亡　親

臨者聞于勤操僧正善矣衆好中痲經曰僧正常句曰
念後願誰淨土答曰我无意淨土但于衆生共生言竟
俠矣僧正強送已了貴後當忌日唱同法曰和上身外無
資須吾上各持鉢供進于石淵寺為之欲讀法華經
并維摩經毎
忌日讀修

國郡 付名所小路

伯耆國 管六

一 河村カハムラ　久米クメ　八橋ヤハシ　汗入アセリ
會見アフミ　日野ヒノ

本田八千六百六十歩　上十三日　下七日

播磨國

管十二

垂仁天皇御宇始造此國号也

明石アカシ　賀古カコ　印南イナム　飾磨シカマ府

揖保イヒヲ(イホ)　赤穂アカホ　佐用サヨ　完粟シサハ(シ)ト

神埼カンサキ　多可タカ　賀茂カモ　美嚢ミナキ

本田二万一千二百四十六丁　上五日　下三日

八條坊門　八條　針小路弘四丈

坊城　博多津ハカタノツ

官職 付僧位女官雜任等

伯ハク 在神祇官

隼人司 正 佐 令史

坊ハウ 春宮 大夫 亮 進 屬

博士

文章博士二人 文章得業生二人 号秀才

文章生十八人 号進士

明法博士二人　明法得業生二人
明法生廿人
算博士二人　算得業生二人
算生廿人
明経博士一人　助教二人
直講二人　音博士二人
書博士二人　明経得業生四人
問者十人正暦四―始置

（「オ」ハ權ノ畧字）

陰陽師六人

陰陽生十人

曆博士二人 正オ

天文博士二人 正オ

漏尅博士二人 正オ

侍醫五人 オ一人

針博士二人 正オ

醫師十人

陰陽博士二人 正オ

曆生十人

天文生十人

守辰丁廿人

醫博士二人 正オ

女醫博士二人 正オ

醫得業生四人

醫生卌人

針師五人　針生廿人

藥生十人　藥園師二人

藥園生六人

乳師一人

八省　本朝事始云孝德天皇五年二月詔博士高向玄理與釋僧旻置八省百官

中務　式部　治部　民部

兵部　刑部　大藏　宮内　已上謂之八省

判事 大一一 少一一　番長 左衛府〻〻　祝

判官代　　　　判官

放免 ハウメン 左使廳下部　　　花摘 ハナツミ

姓氏

春原　　林 ハヤシ　　八多 已上朝臣　　間人 ハシウト

参議善縄之時仁壽三ー十月為朝臣

春澄 イ本　参議従三位善縄天長五年賜姓春澄宿祢 本姓猪名部造傳改宿祢

土師　垂仁天皇御宇卅二年 癸亥 皇后日葉酢媛崩矣

土師連祖野見宿祢造之偶 ヒトカタ 及禽獸之形理之

從是之後○理 埋 生人懲永○正天皇大悦賜姓為土師連

〔「正」ハ「止」ノ訛〕

秦忌寸(イミキ)　羽咋(ハクヒ)公(キミ)　嗪(イナン)　榛原(ハイハラ)已上朝忌寸(公)

蓁栗臣(ハクリ)　秦長蔵(ハタナカクラ)　春野

春井　治田(ヘタ)　服部(ハトリベ)　降田(蜂イイ)已上連

文部(犬)(ハセツカヒベ)　首原(原首)　間人(ハシヒト)已上直　長谷部(ハセベ)

已上造　播美(ハミ)　祝部(ハフリベ)　博田(ハクタ)　羽束志(ハツカシ)首

大倍首宿祢(又部)(ハセツカ)　原直(ハラ)　蜂田(ハチタ)已上連(ムラジ)

春ハ治去晴霽

明間流遂立ニハル

伊呂波字類抄 ニホヘトチ 二

天時　地 付居處 居宅具　殖　動物 付躰　人倫 付鬼神

人躰 病瘡　人事　飲食　雜物

光彩 付画丹 染色具　方角　員數　辭字　重点

畳字　諸社　諸寺　國郡 名所

官職 僧 女官　姓氏　名字

伊呂波字類抄二

仁

天象 付歳時

虹 ニジ 雄曰ー雌曰蜺 見于兼名苑

霓 （蜺欲嶋也） 雌也 ○（蜺） 亦作○蜺

螮蝀 毛詩註云虹也帝董二反 音蹄又作蝃和名迩之 已上虹也（螮）

日曜 九ー内 當年星 五 十四 廿二 卅 ○三二 四十一 ○五十 ○叶（五十九） 六十八 ○（九） 七十七 八十六 大吉

東風 西南 不周風 西北 泰風 西風

二十八宿 角亢氐房心尾箕 斗牛女虚危室壁 奎婁胃昴畢觜參 井鬼柳星張翼軫

地儀　付居處并居宅具

逓ニハ　　壇　塲　填

場　除已上ニハ　潦｜着雨水也ニハタツミ陸｜見文選第二（皷皐円皐）

殖物　付植物具

薙ニラ俗訓　韮円秋｜　菁ニラノハナ　海藻ニキメ俗用和布

出陶景注

重臺　畜　日澤　重澤

鬼醜　丘重澤　罷雷　醜　夾盖

羕露　已上九名出釈菜性　已上十六名ニハソ又名ニヒソ見本草

瓜蔕　陶景注曰用青月蔕也　ニカウリノヘソ見本草

動物　付動物躰

鷄（鶏）ニハトリ　正作雞　鶤　大鷄　翰　天鳥毛羽有五彩

毦 牧尾（汲） 芁菁 已上同 二ハトリ 鶺鴒（鶏 鸗） 二ハクナフリ（イ、ニヘトリ）（イナシ トツキヲシヘトリ）

鶏鴒 イ本 二ハクチフリ 錢母 亦作鳥禽白似燕鳥而高飛作聲者也

天鸂鶒音 狼似鷗（鶉）色似鶉而高飛作声出崔禹 鳩鴿 イ本 二ハクナフリ

連錢 鷗鸂（鶉） 錢母鳥 已上出兼名苑已上ロ名 二ハクナフリ見本草

鵖合鳥 已上同 二ハクナフリ 丹雄鶏 二ハトリ 肶胵 仁諧音 上 毗

鷄白蠹（イナシ） 陶景注云不知是何物（イナシ） 翰音 時夜 嗃夜（オナシ）

伺時之禽 反翅 金距 五指

金骹 已上八名出兼名苑 戴丹 出養性要集 已上十二名二ハトリ 見本草

人倫　付鬼神類

人民　ニンミン　或云オホンタカラ

人躰　付疾病類

人中　ニンチウ　知云　水溝　同

痤　ニキミ　小癤也　二禁

齇鼻（皻）　ニキミハナ　鼻上皰也

皻鼻（皶）　同

毳　ニコケ　細毛也

䯱　腿股上小毛也

人事　付術藝并産業

憎 ニクム 憂ー　惡　疾　悪　送

覵　荒　懲　嫌　醜

嫉　疾　𠵯 ニクム（𠵯）ヒヒ円　吟 ニヨウ　噇

嘞　呻 ニヨウ ホニクム　睨 ニラム　眄　瞰 見ー

贖　瞋　喔睲（睳）　眦　眥 ニラム ヒヒ円

披齩鼻 ニキミハナ　齗 ニクム

飲食

韮 ニラキ 酢菜也　寒 ニコヤス（ヤ） 文選云寒鵠煮鼈　鯖　羹穀 巳上同

醪 ニコリサケ　濁　醎醶　醲（醠） 巳上同 ニコリサケ　乳酪 ニウノカユ

漿 ニオモヒ 新古今云 則美皇　贄 ニヘ　乳麩 ニウノモチ（イ本） 麩餅字也　苦 ニカシ

毒　切 巳上同

雑物

錦褥 ニトコ　膠 ニカハ　阿膠

傳致膠 楊玄操上音伝　盆覆膠 厚而清者名也 楊玄操序

孟音キノ出陶景注已上三名
ニカハ見千本草
燎ニハヒ　遅燎見毛詩
（「ニヨシツカ」ノ訛）和意 如意法具梁劉孺（後）有如意銘
戎貝ニウク 字音也
光彩 付繪丹并染色
丹ニ 説文云巴越之赤石也
銑色ニフイロ

和炭ニコスミ 鍛冶炭歟
遅大　庭ニハヒ 已上月
荷ニ　加紫霹靂ニヨシ之
就麻ニヲ
丹砂 考聲切韻云丹砂似朱砂而不鮮明物也 丹音都寒反 和名迩

方角 付

西ニシ　光ヿ

員數

二ニ　貳ヿ　廿ニシテ

辞字 付

句 ニホヒ ニホフ ニホヒ　馡　薫　芥　鑊
芳　盦　薉（穢）　越　菲 已上同
苦 ニガシ　濁 ニゴル　渾　濶　溷
洎　渚（淆）水也　埣　黷　混
淰　洄　淈　湾　汚
𠹭 已上同（餂）　涤 ニラク 嗆也（䑛）　焠　䞐 已上同　褦 ニキハヒカナリ ニキハヘシ 𥝢木盛也 （原）（厚也迸）
賊　優　穰　潤　饒
豫　賑　贍　賙　周

豪 妶 穡 農 僨ヒウ

稔已上同 聽キハフ家ー也 稼イナシ稼穡也 賑 鰮

賙 周已上同 荷ニナフ 擔 與

貢 攝 予已上同 似ニタリ 枉

肯 鼓 類 仭 偪

如 相 抵已上同 拳ニギル 掬

匊 握 拱 挻 攔

擡 揣 抄 把 擬

搦　搏　亭（ヒ上同）　享（ニル 亨イ ｜鮮也）　湘

瞞（煮）　羹（ヒ上同 ｜塩）　逆（「ニク」（イナシ））　亾（ニク）　逃

逃　遁　北　退　亡（ニク）

行　枚　踪　追　◦吧（巴）

遭　勃　卒（ヒ上同 「ニク」（ナシ））　鈍（ニフレ 心性｜也 刀鈍｜也）　◦乾（軋）

癡　◦遲（遅）　克　絅（詷狀）　諏

拙　魯　澁　◦謱（謱）　遉

銖（十二粟而重一◦銖也）　驚（ヒ上画 下乗之馬也）　頓（ニハク 系 ニハクナリ）　乇

勃卒率捽猝（ハウ）
孚忽歿弱（𢏹）泊
便颯彼劇（劇）同
止聳甫條庚（度）
歇交延早欻
霍猝（猝）（猝）強（族）遽溘
暴俄斗（已上月）躪（ニレル）促
乱足轢躇（已上月）和（ニコし）

（ナシ）

重點

日々

信々

畳字

日月

己

字

荷

秩

記

根

寺

重

国

中

田

数

院

定

日

芳

給

堂

色

人師

入部

任官

間

通

九

〃神
〃臭
〃伏
〃和 鎮
斗頭 ニカヒ
叢起 ニヲフ 句也
戒場 ニウチヤウ

〃非人
肉髻 ニクケウ

乳牛
〃食
逢次 同
睚眦 眦ノ本 ニラム
二合 王卿以下皆一分二合申任禄(田甲)定給式部外記也或以外給者給目又一分以下長官申任内官外国

〃酪
〃羊
刄傷 ニンシヤウ
宛尓 クワンシ ニコンス ニコリシト(下同)
白眼 同

柔軟
忍辱 ニンニク
輾然 ニコンス ニコヽト ヘテン
潤澤 ニンタク

諸社
二十二社

伊勢
石清水
賀茂上下
松尾
春日
石上 同上一所
龍田 同上二所
梅宮 橘氏五位一人 勤使四所

平野
大原野
大和 同上三所
住吉 同上四所
吉田 藤氏五位一人 勤使四所

稲荷
大神
廣瀬 同上一所
日吉 同上

廣田 五位一人勤使一所 世俗号西宮　　祇園 同上二所　　ナカ　　北野 菅家 五位一人

勤使所　　丹生 使神祇官差遣之 一所　　貴布祢 同上一所

頌曰

伊石賀松平稲春原神上和瀬

龍住日梅吉廣祇北丹貴布祢

丹生川上 ニフノカハカミ 大和国吉野郡座内　　格云丹生川上雨師神社

四至

東限塩匂瀧　　南限大山峯

西限板（社机 イ本）波瀧　　北限猪鼻瀧

日前國懸社　紀伊國名草郡十九座内

古語拾遺曰素戔嗚神奉為日神行甚无状于時天照大神赫怒入于天石窟閉磐戸而幽居乃六合常闇於是侭思兼神議令石凝姥神鑄日像之鏡初度所鑄少不合意（是紀伊國日前神也）次度所鑄其状美麗（是伊勢大神也）爾乃太玉命以廣厚稱詞啓曰吾之所捧宝鏡明麗恰如汝命乞開戸而御覧焉仍太玉命天兒屋命共致其祈禱焉于時天照大神中心獨謂比吾幽居天下悉闇群神何由如此之歌樂聊開戸而窺之爰令天手力雄神引啓其扉遷座新殿天照大神高皇産靈尊乃相語曰夫葦原瑞穗國者吾子孫可王之地皇孫就而治焉寳祚之隆當与天壤无窮矣即以八咫鏡及草薙釼二種神宝授賜皇孫永為天璽（所謂神璽釼鏡是也）即勅曰吾兒視此宝鏡當猶視吾可與同床共殿以為齋鏡

丹生川神社　大和國宇智郡十一座内

丹生〻〻　参散　同宇多郡　十一座内
又伊勢国飯高郡座

丹生中（ナカノ）〻〻　伊勢国飯高郡　又若狭国遠敷郡座又同三方郡座又越前国敦賀郡座又但馬国美含郡座
九座内

尓波（ニハノ）〻〻　尾張国丹羽郡
廿三座内

西奈弥（ニシナミ）〻〻　越後国磐舟郡
八座内

西刀（ニシトノ）〻〻　但馬国城埼郡
廿一座内

尓佐〻〻　出雲国島根郡
十四座内

尓佐能加志能為（ニサノカシノヰノ）〻〻　同内

西利太（ニシトタ）〻〻　同大原郡
十三座内

雑具蘰姫命（新歌）（ニヒクヅリヒメノ）〻〻　石見国安濃郡
十座内

新次（ニヒ（ミ）スキノ）〻〻　播磨国神埼郡
二座内

介比都賣ミミ　備後国奴可郡座

丹都比女(ニツヒ)ミミ　紀伊国伊都郡　二座内

已上見延喜式

厭虹蜺祭(ニシイトフ)　御衣并御鏡不用之

諸寺 付霊験所

仁和寺　光孝天皇御宇造之　仁和四年八月日供養導師[illegible]
或記仁和年中建之依之号仁和寺
保延元年乙卯五月十八日供養去元永二年焼亡
更建之安木佛也

裕云寛平御代奉為仁和先帝所創立也其寺額借十口　ゟ二

四堂院置年分度者一人也

如法堂　延暦寺慈覺大師書如法經安置小塔今号……

錦織寺（ニシコリテラ）　崇福寺是也

如意輪寺　件寺保胤入道法名寂心居住参河入道寂照以寂心為師同住此寺寂心遷化之後長保年中依本願可拜大宋國清涼寺之由云々既以渡海迎茂之剃於山崎宝寺為母修八講以静照為講師此日出家者五百余人

二荒 亦日光山

弘法大師御願云、在沙门勝道
者下野国芳賀人也、俗姓若田氏

神邈峨之齡、意清惜囊之歲、桂柳四氏之生事調節
三諦之藏業厭聚落之囂轟、仰林泉之皓然、自有州
補陀洛山荒山嶺、挿銀漢白峯、衝碧落破雷腹而單札
翔風廷而羊角、爰以去神護景雲元年四月上旬
跋上靈深巖峨雲霧雷迷不能上也、還住半腹三七日、又
天應元年四月上旬、更事攀涉亦上不得也、二年三月中
奉為諸神祇寫經圖佛、裂裳裹足、棄命殉道、強負經像至
于山麓、讀經礼佛一七日夜、堅發誓曰、使神明有知、願察我心
我所圖寫經及像等當至山頂、為神供養、以崇神威、饒群
生福、仰願善神加威云、終見其頂、悅恍惚、似夢悟、不同乘昏
忍入雲漢、不嘗妙藥、得見神窟、一喜一悲、心魂難持、山之為状也
東西龍卧、弥望无極、南北虎踞、棲息有興、指妙高以為傍
引輪鐵而作帶、咲衡岱之猶卑、哂崐香之又劣、日出光明未
晩入、不假天眼萬里目前、何曾乘鵝白雲足下、千般錦花

无機常識百種霊物誰人陶冶北望則有湖為計百頃東
西狭南北長西顧然有一小湖合有二十餘頃彫埋更百
一大湖曰募計一千余町東西不測南北長遠四面高峯倒影
水中云々去延暦三年三月下旬更上経五个日々々大同二—国々々々

仁王経法

如意輪観音

仁王　多門　持国謂之——

二十八部衆

國郡　付名所小路

二條　錦小路
壬生　西洞院

官職 付僧位女官

女醫博士　入寺僧
女御 本朝事始云雄畧天皇七ノ求稚媛爲女御
女官　女嬬 ニヨシウ 女官也

天象 付歳時

星 ヲシ 亦作曐　　躔 ホシノヤトリ 日月行経也星運行也

北斗 一柄星　九執　七星　十二宮　廿八宿

梵天　　衝累 ヲシ ヲラシ 五至七為彩

地儀 付居處并居宅具

洞 ワラ 仙一　渤澥 海国名也　　隍 ホリ 城池也有水日池也无水日一

塹　堡　濠 亦作壕 城一　　堡

人體 付病瘡類

頰 タヽ 亦ツラ　骯 脤 同 今案此字足指重肉也 亦作顔　骨 タ子　勃 同

臍 タソ 亦ヘソ　腮 同　小腹 タカミ　膘 タハラ　顏面 タヽツキ 亦カタヘモ

面子 同　肋 タコ

人事 付術藝產業

瘯 タム タマレ　譽　繩　稱　讚

嘆　娘　歎　美已上同　誇ワコル

矜　自　伐　代　侉

諌　疰　詡　耀　柏(栢)

傲　夸　㐺　奢　鐃

嬈(嬈)　媒　詑　蒂已上　ワコル　耄ワレタリ　老ー

恾　忙　恂　悦　悃

懺(懺)　悖已上同　ワレタリ　屠ワクル　切鳥肉也　闘ワトホル　獪獪イ(獪イ)已上同　諠譁

躍ワトハシル　踊　跔　躑　蹤

跳　蹢頭　蹀 已上同　報 ホウ 果ー　法 佛ー

崩 ホウス　祭 ホカ(上)　踏 同 (落)　嘸 ホウハル(上)　嘰 同

輔 ホス　俸 ー禄 月ー　哺 ホ　弄槍 ホコトリ

北庭樂 同　豊生樂 平調　保曽路久 高麗楽 (イナシ)

菩薩 沙陀調　補臨禅脱 ホリンコタツ 同

飲食

糒 ホシイヒ　粧　糗　糒 已上ホシイイ　脯 ホシシ (イナシ)

腒腨(イナシ)　腠　䐗膂(脊)　膞(イナシ)アシイヲ　鹿脯(イナシ)已上アシ、

雉腊ホシトリ　干鳥同　鳥樣(イナシ)アシムス　乾薑(イナシ)アシハシカミ

軟脡ホソチ　廣雅云庤掌手散小骨大斑皆脯名也　和名保曽知俗用𦟜脡二字或說極髮脯言之義也

庤掌　手散(脯)　小骨　大斑已上同　千脯アシハラヒ

干鰒　宮式云アシワラヒ

雜物

蔞間アコ　膝　檜　鏡短刀也　鋒

方磬ワウキヤウ楽器

方磬 石上一 獨上五 六 己上 偈上三 五 上㐂 合 江一 工モ上工 上四 赤 下凡

寶幢ワウトウ 花嚴經偈云寶幢諸幡蓋　寶鐸ワウチヤク 大鈴也

寶螺ワラ(𧑅) 千手經云若爲召呼一切諸天善神者當於寶螺手　爉ワツクツ 燭餘灰也　炪 同

裁ホタクヒ　燼 同　樴ワクシ　絆ワタシ 牛馬也　羈ワタシ 馬絆也

鋋　頭　槷　馽 〻上同 ワタシ　颿ワ(イナシ)

帆席(四声字苑云帆音凡一音梵風衣也一云船上掛檣上取進船幔也各云帆以席爲之故曰帆席也)

帆ヒヒテ 帆衣也　帆竿(ワケタ) 咊吋ワ　帆柱ワハシラ　檣　槳

帆檣 已上同　帆縄 ワツナ　長稍　綃 已上同　方 ワウ（薫） 藥蘆根

野火 ワワケ 防野火也　鳳輦 ワウレン 皇輿也　寶劔 ワワケン

寶冠 ワウクワン　櫛 ワリクワ　木帮 ワケイ

（長）細毛綿 内蔵式云々 ワソモチノワタ

光彩

（ワノタ訓）焔 ワノテニ　焔　焱　炎 焔也　燄

方角

邊 ワトリ　裔 四ー　瀕 水涯也　濱　崎　沂 沂　壖 江海也

畔　渚 水ー　涘　麋 麋　滂　洒　幽

干 水ー 干欲　側　隈　脣　澳　上　下

頭 湄 水ー　得 得　陲　垂　濆 水際也　法　周 曲也

滸 水ー　端　渡　圍　壖　斷　偏

折　間　濟水際也　垠岸也　將

ニコソ

幽巳上同　程ホト　間　間　期

焉巳上同　外ホカ　表　○僎遜　喬巳上同

方ハウ采也

員數

辭字

施アトコス 擅 放 撤（撤） 報

誇 賦 賜 揮 希

布 灌 略 澤 廣

行 渾 汎 殟 殁

宣一茱也 輸 班 °夭矢 散

播已上同 滅ワロフ 亡 殲 泯

殯 °夭笑 喪 弥 無

殉 削 死 薨 °巻（卷）

逃 弊 殲 撤 已上同 細 ワツシ 嗟 (荃 茎) 鍐 (䟽) 已上同 蹠 ワル

匆 侘 滅 已上同 平 ワス 纖 露 域 側 ワカ

屠 倉 綻 ワコロフ 亦作綻 曝 暴ー 蔵 蘁 剠 風 颪ー 訛か也

袁 殘 已上同 祖 執 精 已上同 闕 寫 像

残 漁 ワロワス 蒙 睎 已上同 髮異也 饑 ワル (イナシ) 窟 ー窒 穿 柄

嶶（嶶）　俻　惆　悦　曙

祖　彷　歸　閑　屍

勿　因（已上同）　肆（ホシイママ）（イナシ）　恣　壇（已上同）（｜場）

逸（アトコス）（逘イ）　厲　施（旋）　專　逞

蹤　意　積　適　資

縱　任　孝　禪　容

嗟　延（延）　委　超　然

澹（澹）　淡　略　聊　狼

〇披(披)　朗 ワカラカニ　〇廓 廓(廓)　〇脬(脾) 明見也 朗也 望ー也　高　噭　〇耿 耿　殆 ワトワト

〇播〇播　呵 听欲 ー晃是之　散　蹸　怞　漱　芊　動

挍 挍　爍　融　優　日　瞑　幾

衍　洞　篗　廓　豁　光 ー朗　〇欲(歆)　危

致 已上同　廓　睨 睍ー也　晤　闇　閑 ー故　〇谺(谺) 已上同　紇

重疊

忱々ホル

疊字

梵語
〃号
〃合
〃幢

〃唄
〃本
寶玉
〃藏
〃筹

〃天
〃宇（寺）
〃珠
〃劔
〃刹（利カ）
〃鑰

〃僧
〃宇（字）
〃壽
〃鼓
〃物
〃鉢

〃衆（天）
〃夫
〃袮
〃鐸
保長

諸社

大雷神社（タノイカツチ）　大膳職坐神三座内　又大和国宇智郡座
又上野国那波郡座

穂雷命(神)社（ホノイカツチ）　大和国廣瀬郡十五座内

火幡神社　同葛下郡十八座内
名神大月次新嘗

保久良（ホクラ）……　摂津国菟原郡三座并内

堀坂（ホサカ）……　伊勢国飯高郡九座内

大上姉子（タカミアネコノ）……　尾張国愛智郡十七座内

穂高（タカ）　信濃国安曇郡二座内

桙衝（ホコツキ）　陸奥国磐瀬郡坐

已上見延喜式

本命祭（ホンメウ）　北斗祭（ホクト）

諸寺

法興寺　崇峻天皇元年建之

日本紀云敏達天皇御宇十三年甲辰九月自百済国所献石像一軀送之今在元興寺東堂

扶桑略曰推古天皇御宇元—正月 蘇我大臣馬子宿祢
依合戰願於飛鳥地法興寺立之同御宇四—冬十一月造
畢供養今元興寺是也本元興寺華號中宮寺是也

法光寺 天武天皇御宇十三中臣寺是為祈淨原天
皇不豫建立者 被移行此寺於維摩會
其後被移
殖槻寺畢

法華寺 光明皇后家願寺 西面和銅三年建立之
扶桑略曰以藤原大后宮為
七大寺内和銅年中建立寺家縁起云推
古天皇帝十五年聖德太子 斑鳩宮由

法隆寺
建一伽藍名法隆學問寺安置佛舍利本朝始法華
維摩會勝鬘三部大乘於此寺 如來教法始所故名學問寺

法琳寺　仁明天皇御宇承和七年庚申始被修大元法常
曉賜法琳寺地為大元帥之秘法所康平元
｜戊戌七月五日大元堂西前地陷
長十余丈廣三丈余

菩提寺　号橘尼寺是也
在大和國

法輪寺

寶山寺　宝寺　宝積寺(寶)　同寺之異名歟
山崎橋邊西觀寺北天平年中建之行基菩薩
造立之寺歟參河入道寂照入唐之時於此寺毋修八講
以靜照一為講師此日聚集之者五百餘人四面之聽聞衆
无不流淚

寶積寺

法成寺　後一條院御宇寛仁元年建立阿弥陀堂同
四年供養薬師堂治安元年辛酉十二月
二日供養西北院同二ー壬戌東西二塔并講堂十齋
堂法華堂等供養万壽元年十月十八日法成寺内
供養金堂薬師堂
康平元年戊戌二月廿三日法成寺焼同二年己亥十二月十五日
阿弥陀堂五大堂真言堂供養　治暦元年乙巳十月十八
日金堂薬師堂観音堂供養焼亡之後造之
永久五年塔大事長承元年壬子二月廿八日五重塔供養
導師忠尋

法定院

奉光寺

法華堂　本座三昧院　在哇(正)観音(院)西邊上亦名常行
安置多宝佛像一体

正暦二年辛卯七月供養

法興院

寶積院

梵釋寺 在近江國天長八年辛亥天皇行幸此寺之次施入水田六十二町封五百戸延暦三年建之

國史云延暦五年正月壬子日勅建之云々或書云延暦五年正月日近江國志賀郡勅建梵釋寺云々

法住寺 永延二年戊子三月廿六日供養右大臣藤為光本願

法性寺 寛弘四年丁未十二月一日甲午内大臣公季供養三昧堂

寶幢院 巻云貞観元年八月廿八日初之試度年分之例元慶七年十月十日更置當院別當是知院

中底寺

菩提壽院　長曆元年丁丑六月二日上東門院被供養

法勝寺　承保二年九重塔并藥師堂供養應德二年乙丑
八月廿九日庚寅供養常行堂天永二年始被行
三十講承曆二年始置大乘會

法莊嚴院

法金剛院　大治五年十月廿五日供養

寶積（イ、ナシ）菩薩

國郡　付名所小路

掘河

官職 付僧位文官

法務

貞観十四年三月十四日以僧正真雅為法務此時始（不十三）
同日為綱（總）所執行古記云被置経所之後始法務云云或
記云弘法大師入唐帰朝之後以不空三蔵之例准俗官被申置綱所者
依解官行事雑鋳作綱所印鎰依无其仁所官納也
法務補任等云真雅以前之法務五代僧任日不分明又皆不被置
綱所以前也可尋以法　務次第引勘之綱所本也

法印

法眼

推古卅二年(三一)始被任僧綱幾經一百九十年淳和天皇天長元年弘法大師直令任少僧都東寺眞言宗僧綱初也其後經四十余年貞觀十一年二月廿六日遍照敍任眼和尚位是天台延暦寺僧綱初也最任僧綱之始也

伴遍照僧正者貞觀十一年二月廿六日敍法眼年五十六、俗姓良峰宗貞大納言良峯朝臣安世卿八男承和十一年補藏人十二年正月　五日敍從五位下嘉祥二年正月任右近衛權少將同三年三月十七日天皇晏駕宗貞先皇之寵臣也先皇崩後哀慕無已自歸佛法以來報恩廿八日出家爲僧齊衡二年五月十二日登比叡山座主慈覺大師爲傳戒師受菩薩淨戒

法橋

姓氏

星河ホシカハ　穗積ホツミ　已上朝臣

品治ホンチ　忌寸　或宿祢

名字

部

天象 付歳時

弁才天

地儀　付居処并居宅具

戸（ヘ）民ー　屏（ヘイ）ー餅　盥恩（ヨ）　跂（ヘキ）　邉道（イナシ）（ヨ）

亭子（ヘヤ）　戸屋（ヨ）

殖物　付殖物具

班竹（ヘネノ）一名涙竹　椐（キヨロ）（ヘヒ）木ノ名也（ヘロ）床木（イ本）　蘭（藺）（ヘンノツカワラ）

蛇莓汁 仁諝ヘミノイチゴ 音莓見本草也

動物 付動物躰

豹 ヘウ 竹ー比教反

蛇 ヘミ 俗呼蛇為反白氏

蛇蛻 ヘミノモヌケ

龍子衣 同

蛇蜺皮 仁諝音税

龍子衣

蛇符

龍子皮

龍子單衣

弓皮 已上六名ヘミノモヌケ 見本草

人倫 付鬼神類

竈神 ヘツイ

人體 付病瘡類

臍 セイ ヘソ ホヲリ 㖧脘（膣）

瘭疽 ヘウソ

放屁 ヘヒル

歐吐 ヘトツク

𪾶 膌 同

屁 ヘ 口瓜 イ（疙）

陰核 ヘノコ

勢 同 見孝経 屁ヘノコ

糟 ヘヒル

[illegible] 窯

人事 付術藝并産業

（テムノ訛）

諂 ヘツラフ　諂 ヘラム　諛　倍　泊

詬　健　詷　協　傣

謅 モヒ円　謙 ヘルヘス 自ー　䳽　弊　耗

貶 モヒ円 ヘル　閲 ヘミル 見 史云ー天下之義理是也　辟 ヘルヘイ 自ー　聘 円 噂 ー問也

平樂 平調

飲食

餅腅ヘイタン 裹餅中納煮〈合鵝鴨等子并雜菜也〉（也イ以下ナシ）

雜物

舶ヘサノ 剁水也 舟ー　䌫子ヘイレ　鞞ヘラ ーー士𩋾耳也　鍎（同）

褾紙ヘウシ　蔕ヘン ー竹　版位ヘンヰ 方三寸（三）厚一寸半 標木也（イ本ナシ）（板）以木為書籍版亦（可ナシ）（盛）板字也

斑幔ヘンマン　屛幔同　緣ヘリ 簾疊障子ー亦也　綜ヘ 機縷持絲

（繳ヘ繒ー所以加飛鳥之）交者也今案俗以長絲結著 小（纔）（應）橄也繳學（精草）謂之綜非也　足組ヘツ　䑴ヘアキ 艤也

卷子ヘリ 以麻苧績（分シ）成糸（像）圖卷之名也　䞓粉ヘニ 䞓即赬字（頳）赬名䞓赤也　赤點ヘ同 見世俗諺文

表（ヘウ）牋一

標山（ヘウヤマ）大嘗會之時引之也（テ之）

光彩 付繪丹呉染色

方角

貢數

一戶主（ヘヌシ）以五十戶為〻〻

辞字

隔 擘 ヘシワ 唐作隔　阻　屏　條　別

停　隔　複　中　間 ヘタツ 已上同

經 ヘツリ ヘル　歷　逕（逕）　麗　蹠

弥 彌 已上同　斃 ヘイス 牛馬死也　满（再）　耗 ヘカル ヘク虎 唐作誂 （兟）

折 ヘク　信 同　壓 ヘス 鎮也 笮也 壞也 降也　減（同 納）

變 ヘンズ　可 ヘン　會　應　將

宜 合 當 撻 協 協

肯 須 ヱヒ月

三六ウ

重點

尸ゝ ゝゝ 昉 ヘウし 淼 ヘウし ハルカニ 大水貝 變 變ゝ 吽 ヒ

翩ゝ ヘンゝし 飄ゝ ヘウし

疊字

漂流
〻目
〻付 文名
〻荔 香草蒲
〻眇
壁立ヘキリウ
騈田
屛障
塵

〻沙
〻甃(輸)
〻鍮 作𠹈鍮非也
〻籍
并日
〻青
〻羅
〻愓
〻除
米穀ヨ

〻砌
片月
〻包
飄颻ヘウエウ
貶責ヘンサク
廟門ヘウ
〻麺

篇章
薜蘿
〻雲
蔽匿
〻喝(揭)作喝(揭)非也
〻袪
冕旒

〻圖
〻集
〻衣僧
漂囊ヘウナウ
〻髮
〻謫〻チヤク
〻考〻カウ
飈風ヘウ
陛下

版位ヘンヰ　翩翻ヘンハン

俛仰ヘンギヤウ

便痢屎尿欤

襞積ヘキセキ ヒダ　餅餤ヘイタン

蝙蝠ヘンキウ　騙騰ヘンテイ

攀縁　迷惑

標榜ヘウハウ　戸座ヘザ

ヘウフ ツミカセノナツリ 御衣并御鏡不用也

拼擱ヘイリヨ　標挍ヘウカウ 器也

娉娟ヘンケン　瞟眇ヘウミヽ　澼游ヘウユ

〻 判　鼈屋ヘツシン　炳煥ヘイクワン

箯輿ヘンヨ 乗物也　䴙鷉テイ 鳥名也

嬖惑(惑)　妙無　僻案

陪従ヘイジウ　秉燭ヘイショク 作秉非也　炳焉ヘイエン

謬訛ヘウクワ 作謬非也　僻遠ヘイエン　飄風祭ヘウフウ

邊豆ヘン　瘭疽ヘウソ 病也　瓢箪ヘウタン 器也

歐吐ヘトツク

諸社

平群石床神社　大和―平群郡（廿座内）　大月次新嘗

平群〃〃　同内並大月次新嘗　又伊勢国員辨郡座

平群坐紀氏〃〃　同内名神大月次新嘗

已上延喜式

諸寺　付靈驗所

遍照寺

辨才天

國郡　付名所

官職

辨弁

左大弁
右大弁
左中弁　但権弁

右中弁
右少弁
左少弁

弁者中少弁加之依時儀八弁例弘仁八年左少弁二人 有巨勢全継 藤福當麿（麿） 安和元年權弁二人 權左中弁藤為光兼右少將權右少弁 高階成忠

別當 左檢非違使弁 諸寺凡於吏多之

弁濟使 受領安置之（定）

姓氏

平群（ヘグリ）朝臣

名字

上

天象 付歳時

貪狼星 七曜内 子年人

土曜 九一内 當年星 二 十一 廿 廿九 卅八 四十七 五十六 六十五 七十四 八十三 九十二

年 トシ 亦作秊　歳　載 年也歳也　祀

稔　茲 己上同 トシ　頃年 トシゴロ　年来 同

時 トキ 子時 夜半 丑時 鶏鳴 寅時 平旦 又昧爽 卯時 日出 辰時 食時 巳時 禺中 午時 日中 未時 日昳 申時 晡時 酉時 日入 戌時 黄昏 亥時 従沼及 人定

△刻（尅）　辰　節　秋　尭 已上同

一時法　八刻廿八分為一時　八十四分為一刻
八十四分 八十四分 八十四分 八十四分 八十四分 八十四分
八十四分 八十四分 為一時 一時法八刻廿八分

鳥居　楣　華表　降　熢 已上同

枓トク　栖　檽（標）已上同 梁上柱也　鐶 鈕トリ咋（月） 䥆双トノヒキテ

直廬トノヰトコロ　登華殿 殿名　通陽門

東福門 已上朝堂院内　洞清樓（イ本ナシ）在栖霞観

殖物 付殖物具

瞿麦トコナツ 俗用　常夏 同　薢トコロ　芼 俗用字 或用野

尭二字未詳　野老 已上同 俗用之　木賊トクサ　⿱艹賊トクサ　絣麻 トリノアヒクサヽリ ホトリノ子ブサ 糸ウラカクサ

同麻　鷄骨升麻 青緑色者 イ見本草也　落新婦 巳上円

荷葨 トヽキ 一云ヲカトヽキ　鷄冠菜 トサカノリ 俗用鳥坂苔　椁 トム

栩　枋　槁　柣 巳上 トチ　石楠草 (上) トホラノキ トヒラノイ サクナムサウ

鬼目 (ヲニナシ) 巳上二名トヒラノキ 見本草也　石檀 トチノコノミ　秦皮 (同)

岑皮 楊玄操作梣 梣 トネリコ　欅槻皮 仁諳音槻 出陶景注　苦樹 俗見

味苦名為苦樹 出蘇敬注　欅雞 出仁諳音義　昔歴 出雑

要決巳上七名トチリコノキ 見本草　檫 トカノキ　𣏕 (上) トフサ　藤 トウ

柞 トキハ　(石南草　鬼目 巳上二名トヒラノキ 見本草)

動物 付動物躰

鳥トリ　禽キン円 二足羽田(ナシ)ー　一説飛曰鳥足曰獸惣謂之ー　鳶トビ亦作鳶(鳶鳥)

鵄鴟　鷲　鵬　鴟亦作鴟鵄(鴟)　鶏

鷗　鵃巳上円　鶉頭トヒノカシラ(頭) 揚玄操作鶉音　老鶏

鵔　有鶵鶵　巳上円 相似而大揚玄操 音彫悍　鶺鴒トツキヲシヘトリ 見示部

虎トラ 亦作虎　武　烏䰰円 楚謂虎也　駿馬トキムア

騅 駿馬名也　胡犢トヽ 良ンノ善名也　駑馬トワイ(豆)駑ーイ (トナリヒキ)(一本ナシ)

鵖トヒヲ トヒイヲ 臭之鳥翼能飛也文ー　鰋円　蝘蜓トカケ　蜥蜴(蜴)

蝾蚖　龍子　守宮　蠪蚳　○[illegible]([illegible])

石龍子　蜥蜴蜥 楊玄操音上 先歷反下音亦　山龍子　○石蜴(蜴)

蛇醫母 黄色　蛇舅母　蛇師 頭大 尾短　蠑螈

蜸螷 之子 カ反　辟宮壁 巳上四名出 萩藥性　刺蜴(蝎)

玄蚖 音元出孫名花　玄螈　緑螈 巳上出古今注 巳上十四名トカケ 見本草

冠トサカ 鳥ー也　角 射雉賦ートサカ　鰙　䚡

毛角 巳上円　胞脛トリノワタ　吭トリノフ 吐三

獨犴トクカン（イキウ）俄寒反亦音岸胡地野犬名也今案和名未詳犴音如簡但本朝式云葺鹿皮々々皮

人倫 付鬼神類

高祖父トワウヲヤ 文字集略云五世祖也 曾祖父母之父母也　朋友トモタチ

友トモ　伴　侶已上同　輩（トモカラ）　倫

儔　徒　儕　曹曹　屬已上同

俘トリコ 軍所獲也　會　拏　擒已上同

得意　刀祢トネ　頂（頂眉）眉トシ　刀自 同刀自 俗用之二字訛也　舎人トネリ

（他本在刀禰上）儺人 同　囚人 トラヘヒト 繫禁罪人也 又囚在獄也　講師

童子　土公 春在竈 夏在門 秋在井 冬在庭

人躰 付病瘡類

雀盲 トリメ　雀目 同　疫 トキノエ（エ） ホエヤミ　髑髏 トクロ

人事 付術藝産業

富 トム トミ　德（トク）　福　穣　禮

豊
戻
詬
失
査トノ井
殉已上同
（「ヤハナ」ノ訛）後三二同
鬭鷄トリアハセ

稌
嚪（圂）
過（過）
殃
宿同
敏トシ
照射トモシ
説トク 音税ー諺諸游也

賑已上同
媢
瑕（瑕）
科已上同
咽（因）トラフ
僾（儇）

椽トツギ　堅
歸已上同　咎トカ トガム
懕　尤トガム 吏
齊（齊）トキ 一日一度會持也
咒、詛ー トコフ　詛
聡　聴イ　利
遠射トホヤケ　射トホマチ
團乱旋トランテン　壹越調

徳貫子 盤渉調　　都𪗱志（𪗱）盤渉調 高麗楽　　登貞楽

同調 高麗楽

飲食

毒トク　◦屠蘇（屠） トソ 一云入酒元日飲也 俗作屠蘇 可除瘟気 屋宜是甘 今旦（今日） 一人飲一家无病 一家飲一里无病

屠穌ト　頭脳トウナウ（トナウ）　杤トチ　野老トコロ

幌 トハリ 帷幔也 覆頭也

芯

炷 円 燈ー

燈籠 已上円

轜輿 円 喪車也

輻 已上円

鴟尾

幃 幃

兎褐 トカチ ホトカツ 縚衣以兎毛和綿織也

燃

燈臺 トウタイ

燈械 トウカイ

轂 トウ 車輪所湊也

軨 軨 已上円

幬 已上円 亦作胡禅帳也 (蓮)

釭

轉 トコロハリ 車下索也

軾 トコシキミ

頭巾 トキン ー裹 見如 (裹)

燈 トモシビ

燈心 トウシミ

燭 已上円

燈爐 トウロ

燈樓

飛車 トフクルマ

箱 トコ 車ー也

小轅 トヒノヲ 俗云在前謂之轅在後謂之鴟尾或云小ト

輹 円

展轉 トコカヘリ

反側 円

艫 トモ 舟也　笘 トコ 舟中床也　蓬 トマ 編竹葺覆舟也

苫 トマ 円 編菅茅以覆舟也(䑩)　纜 トモツナ 推舟索　烽 トフヒ 烽火

燧 円　◦䩡(鞁) トモ 射具也　穟　鞆 俗用之　拾 已上円 ◦捍(扞)

獨鈷 トコ　銅鈸子 トヒヤウシ　鈸　銅鈸子 已上円

◦礪(礪) ト 磨鐵石也　砥　硎 已上円 砥石也　礪石

(於礪) 細謂 ◦砥 麁謂礪 皆磨石也 (本ナシ)

磨刀石 出小品方　磨石 越砥　已上三名ト見本草

筒 トウ 雙六ー也　来猿 トリノクヒ 犂具也　鳥羅 (トリアミ)

椸 トアソ　斗 慶雲元年始賜諸国斗升並久 宣旨云方一尺六分高三寸六分　幢盖

兜納香 トナウ 香名

戸鍱 トノ脩木

土鐵散 トテツサン 薬名也

鳥籠 トリコ

鐶鈕 トノヒキテ 戸具也

簸 同

刹鴈矢 トカリヤ

光彩 付繪丹并染色

同 黄

方角

寅トラ 以脂引人ニ至辰名亦 雅云大歳在ー曰摂提格

酉トリ 大歳在ー曰作噩　外ト　吽ー

員数

十トヲ　拾同　旬トヲカ　斗ト 亦作㪷　槩トカキ 斗ー

斗概同　屯トン 綿十二両為ー

辞字

閅 トウ 正作閉 停ー

閦

闥 閈ー

纖

扂

閑

安 安

闡

活

終

着

噤

杜 已上同

問 トフ

訛 亦作訛

咨

詢 已上同

詰 トフラフ

叨 叨 叨 俗作叨 損其身罪人也

吊 ー喪也（ー宗）

唁 亦作唁吊 失国也

弔 ー嘉也

諮

詎

掠

質

推

諗 諗

詢

鞫 已上同

遠 トワシ

遼

向

玄

退

瑕

挑

◦悠(悠) 遐 湯 曠 逷 ◦収(収)俗作收 執 ◦收(牧)

戍 通 遜 ◦寬(寛) 跡已青 幽 扶 捉

◦邊(邊) 珎 回 閑 捕トラフ逮一 圖 ◦惣(惣) 執一注柔経

眇 ◦遥 遥(一本) 度 綿 擒亦作◦撩(撩) ◦圖(圖) 捍 摯一尚伯也

◦迴(迴) 邇 永 賒 因因欤 投 ◦拘(拘) 熱

枚　謎 己上月　○尋(篆) ｜燭　採　投　○搣(扡)　搴　列

攄 己上月　取 トル　握 ｜手 ｜髮也　○拉 拉　攬 攬 攬｜　○搽(搽)　攕　推

○△趂(趂) トロ 亦作 ○趁 趁　撮　右 ｜筆也　○攎(攎)　擒　搗 ｜蜜 ｜蜂　擄　推

匪　執 亦作 执　杷 ｜鉢　拋　深　搖　捷　枠

諗　○摯(摯)　○挹(挹)　扼 ｜斂 亦作 ○搤 搤　持　搦　○囊 囊　搏

謅 鎂 嫂 捫 掟 抄 尊 悰（禀）

抒 擂 柄 撏 扶 攉 収 捷（揵）

資（擂 塩） 揉 虫 撈 撩 撖 拾 操

括 捊（捊 缺） 間 摸 揄 捔 素 捃

据 系 攝（撰 操） 鮓 擿 浚 掃 摭

擁 ｜堂 ｜草　頼 ｜屯　搕　撁 ｜ラ（擅）　𢷾（𢷾）拈｜（掂）

鍩　揚　扫　卒　拈

揮　挂　攬　共　養（養）

伐　䟽　掭　娶　擒

繫　挨　捬　帆（凡） ｜燈 巳上トル　擢 トリモ呼アソブ（三）

控 トリヒサク　捐　搕 巳上トリヒサク　拉 トリヒシク

振 トリハル 引斂 把イ　逐 トク 達也 成也　畢　拯（拯）

究　盡　竟　𢃇 ｜衣 ｜官 職也　瀆 巳上トク

五十ウ

說 トク 告也 宣述人之言也
解 説也 脱也
釋 己上同 擇也 潰也 (釆)
磨 トク ー鏡

礪 礪イ
砥
砌
𥗟 (砺)
鋭 己上トク ー刀兵也

却 トク
銷
赦
洋 洋 氷ー也 水散也 釈洋イ
論

細
言
紓
道
話 トン

銛
捷 敏ー
速 早ー
利 刀ー
迅

疾 早行也
遄
頓
俊
敏

怱
早
捘 捘
颯 風
矢

[illegible]
駿
聡 耳ー
鋭
駛 駛

存 輟（｜箸也） 亭 良 適

安 賤 任 蕎 莅

蔬 時（時） 届 泊 啜（惙）

過 皃（息） 庄 淳 盡（盡）

寢 沫 牧（牧） 佇 猪（豬）

歇 阻 掩 趣 遂

弭 淹 貢 含 懲（懲 懲）

屢 税（駕也） 嚼（留） 祈 待

定　悛　凝　寔　宿
閤　攣　滯　縶　沉 沈(沈)
是 足欤　抑　陽　頡　滅 ヒエトマル
通 トヲル　洞　達　徽(徽)　融
澈　涘 汗ー也　闈 ー筆也　哥　徙 從
霰 (霰) 霰 霰　庥　逹 遠イ　嘖　瀆 ハ漬
炳　踟　兓　享　遂
闢　衍　滇　闔　亭 (亭)

暢　飛トフ　翻　䑺（躬）　翊　䡶 翰　飛而上曰一　皐

鑽　羽　翃 翃　喛 喛（唯嗟）　摽　輸　𨗦 飛而下曰一 トヒクダル　諮

轍　鴆（鴆）　趫　揮　鴻　翿 彩（彫）　赴

跳 已上トアル　翩　翻 鳥飛也　蜚 鴆也　霏 雪細下貌 霰也　揚 已上同　訪 トフラフ　誡（詆）

翬 翬 飛貌　熛　翃　騫　頡 トヒノボル 詩傳云　訊 作説非也　吊（ナシ）已上トフロフ

〇衰（衰）　問　悴　訊　躬

〇褱（褱）　詢　喑　貞　嚋

咨 ミ上トフ 〇（回）フ　咎 トカム　尤 同　鎮 トコ・レナヘ　常 ト

咺　愼　經　例　長 ミ上同

乏 トモシ（ナシ）　遺　貪　賓　叵

小　〇耽（耽）　猴 㺅　慓 ミ上同　蕩 トラカス

〇[illegible]（[illegible]）　遁　遺　邊　陶 ミヒトラカス

倖 トモカラ　補 トラフ（ナシ）　扶　総　因

捍（唱）　率（攣）　牧　幽ミ上トラウ 闇闇也中西　禰トナフ

唱トナフ　号　音　言　嚇

偈　誦　頌　佪　嘩 喋

佇　殉　融　洞　達

沖　闘ミ上トナフ　炷トモス 一火　炳 明燭是也　燃

焼ミ上ヤ　呀トニロ　攸 所也　往　屄

昌　地　據　隊　道

御 御　嘗　陵　暴　豪

處(得) 得已上トコロ 倫トモ 知 迷 倫 究已上トモ 轉昌 轉同

所 俱トモニ 偕 朝 公 奉 律トモカラ ホトモナフ(ウ) 偕

迴 與亦作与 支 兼 俱 轉 倫 友

回 具 共 擡 寬 連 鏈 共

昏(昏) 其 共已上トモニ 與 朋 僚 尋 具 與

知
朝
公
兼（兼）
接

明（明）
通（通）
部
落
萬

伿
俱
儻
仉仅（仇）
儕

寛
僚
倫
侶
類

奉
輩
幹（幹）
連
徒

儷
五魚馬也
偶
等

疇
黨
禍
耦
部

曾
伍
比
儔
群

傔　流（已上トモカラ）　屆（トワク）　帰

着　遂　達　極（已上トワク）　隣（トナリ）

傍　里　近（已上トナリ）　調（トヽノフ 選也）　律（知也）

愁　齊　勅　格　正

啡（扉）　關　御　餝　謂

巾　攸　等　泫　階

[illegible]慶（戾）　振　適　飭　掁△（振）

憁　肅　譜　僮　像

五五ウ

偹　誠　展ー馬ー車也　蔔　拜

懲悠　歷　賦　理　蹙

轙　服　嚴　鈴　選（軋）

◦均（珣）トヨム　◦葴（巌藏）己上トヽノ　轟輷トロリ　◦圓」圓（圓）　◦軏己上同

動　驟（トハシル）トハシムル雪ー也　左トサマ右カウサマ　偕トモナリ　將ト持狀

与　◦衆己上ト与訓也（泉）

重點

徃ゝ トコロゝゝ　處ゝ 同　轟ゝ トヽロク 聲亦作輷

時ゝ トキゝゝ　等ゝ トシゝゝ　度ゝ トゝ　鼕ゝ 鼟ゝ トウゝゝイ

叩門声 鼓声　轉ゝ トヽロク

疊字

東西　ゝ遊　ゝ都　ゝ京　登時 スナハチノトキ

ゝ縉(紹)

ゝ用 作庸　ゝ首 或進之　ゝ升　ゝ降　ゝ臨

ゝ山　ゝ段(段 一作霰)　ゝ天　ゝ壇

ゝ古　ゝ代　ゝ宜　ゝ風

土地　ゝ骨　ゝ產　ゝ毛　ゝ民

邈 番 巡 倫 望 或　同異　類 像 亂 雞 暂 秋 居 口

壊 字 分 尭（見礼興史記等倫也） 擇 誇 心 文 車 門 説 草（クサナハセ） 盧 市 梁

浪 木 綴 奇 人 意 母 宿 隷（レウレイ） 打　獨歩　頓首

等閑（トウヨ） 基 円 星 義 察 法 朋 行　都城　咲（ヒトリエミ） 断 断 減

草 夢　徳化　葉 望 道 岳　闘諍　鄙 邑 楽 身 證 樂

勞疲トコフミ 久病身杆枚已　黈纊　時素トキスナタ

蠹害トカイ トムシ　督察トクサツ　倫輩トモカラ

比來トシコロ　度縁 三司依官符成上年分貢人臨時因
分僧書生無度縁宣旨右貫戸師主
以延暦寺七大寺僧爲師主

諸社

豊石窓神 御門巫祭神生八坐並大月次新嘗
四面各一坐

伴氏神社 山城—葛野郡
廿坐内　登弥神社 大和—添下郡
十坐内

等弥（トミノ）〃〃　同城上郡廿五座内
同古市郡二坐内　伴林氏〃〃
杼代（トシロ）〃〃　同内
河内国志紀郡十四坐内
利雁〃〃

等乃伎〃〃　和泉国大鳥郡廿四座内蔘散
止杼侶支比売命〃〃
鳥坂（トサカ）〃〃　伊賀国山田郡三座内

鳥出（イリウテ）〃〃　伊勢国朝明郡廿四坐内
鳥取〃〃　同内
外山（トヤマ）〃〃　尾張国春部郡十二坐内
鳥取山田〃〃　同負辨郡廿坐内
砥鹿（トカ）〃〃　三河国宝飫郡六坐内

登勤（トロク）〃〃　遠江国長下郡四座内
豊實命〃〃　同内
豊雷命〃〃　同磐田郡十四坐内
豊積〃〃　駿河国廬原郡三坐内

利（トミ）〃〃　遠江ー佐野郡　四坐

虎柏（トラカシハ）〃〃　武蔵ー多磨郡　八坐内

鳥屋（トリヤ）〃〃　陸奥ー牡鹿郡十坐内　又同栗田郡坐又出雲国出雲郡坐

止々井（トヽヰ）〃〃　同膽沢郡　七坐内

登知為（トチヰ）〃〃　同足羽郡　十二坐内

刀我石部〃〃　但馬ー朝来郡　九坐内

豊比咩〃〃　筑後国

已上見延喜式

豊御玉命〃〃　同那賀郡　十二坐内

等波（トハ）〃〃　近江ー伊香郡　廿六座内

斗布〃〃　越前ー丹生郡　十四座内

鳥屋比古〃〃　能登ー能登郡　十七坐内

等余〃〃　同七美郡　十座

豊比咩命〃〃　豊前ー田川郡　三坐内

豊前宮　坐摂津国難波長柄　今逆離宮地是也

土公祭

諸寺　付霊験所佛名号

東大寺　日本紀抄云　聖武天皇御宇天平十七年乙酉東大寺造畢　即天皇勅願以薄徳忝蒙天位志存兼済云々　費喜薩大願奉造盧嘘(舎)那佛金銅像一躯　尽国内銅像奉削大山構廣及法界為朕知識　遂使同蒙利益度至誠心各招福直　毎日三拝盧遮佛　良以天平八年八月廿三日於大和国添上郡奉創像天皇専以御袖入土持運加於佛座　及集民々人々等運上築(築)賢御坐　以天平九年九月晦九日始奉鋳鍛　以天平十年十月廿三日奉鋳已畢　三箇年八箇度奉鋳御身　以天平十一年三月十四日始塗金奉畢之間　以同年四月九日修於大会奉開眼

（「賢」ハ「堅」ノ誤ナラム）

也同日奉施入大小灌頂三十六流云云金銅盧遮那佛一
躰結跏趺坐御高五丈三尺五寸御面長一丈六尺廣九尺
五寸御耳八尺五寸御鼻長三尺二寸御口三尺七寸御頭長
二尺六寸五分御肩径二丈八尺七寸胸長一丈八尺御腹長
二丈三尺御臂長一丈九寸肘至腕長一丈五尺御掌長
五尺五寸御中指長五尺御脛長二丈五分御膝之前
径三尺御膝厚七尺足下〇二(三)丈〇二(三)尺御螺形九百六十六
箇高各一尺径各六寸銅坐高一丈径六丈八尺周二十
一丈四尺基周二十三丈九尺石坐高八尺周三十四
丈七尺基周三十〇五(九)丈五尺用熟銅七十三万九千五
百六十斤白鑞一万二千六百十八斤錬金一万四百四十六
両水銀五万八千六百二十両炭二十万六千百五十石壇
光一基高十一丈四尺廣九丈六尺使侍菩薩像二躯
並壇光〻高各三丈御面長六尺廣五尺御口長
二尺一寸御耳長五尺御目長二尺二寸御鼻下一尺
八寸繍觀自在菩薩像二鋪　高各五丈四

尺廣各三丈八尺四寸大佛殿一宇五重十一間高三十
二丈六尺東西長四十九丈廣基砌高七尺東西砌長
六百二十二盡步廊一廻平二十間東西徑八十四丈六
尺二寸南北徑八十四丈六尺二寸南北徑七十五丈塔二
基各七重東塔三十三丈八尺七寸露盤高八丈八尺二
寸用熟銅七万五千五百二斤五兩白鑞四百九斤十兩
鍊金二千五百兩二分

豐瀬寺　扶桑略曰欽明天皇御宇建塔心柱
　　　　大炊天皇但馬國封五千戸施之

東寺　弘仁十四年癸卯正月十九日永給大師
　　　勅使大納言正二位右近衛大將民部卿藤原
良房往來法文曼荼羅等納大經藏

東光寺　陽成天皇御宇元慶二年丙戌建之
椿云在山城国愛宕郡依太后御願所建之

東北院　後一條院御宇上東門院長元三年八月
供養建久元年十二月廿七日置阿闍梨四口

東塔院　在延暦寺戒壇西旋上今ノ惣持院是也

得長壽院　鳥羽院御願長承元年三月十三日供養導師
忠尋坐主

東南院　在奈良

國郡付名府小路

遠江國

管十三

濱名　敷智フチ　引佐インサ

麁玉アラタマ　長上ナカミ　長下ナカシモ

磐田府イハタ　山香ヤマカ　周智スチ

山名(郡イた)　佐野　蓁原ハイハラ

城飼キカウ

本田一万二千九百八十七町　上十五日　下八日

土佐國

管七

安藝アキ　香美カヽミ　長岡府

五左　五川（ワロハ）部川（アカハ）延喜式云　高岡（タカヲカ）延喜式云

播多幡ー

本田六千百七十三町　上三十日　下十八日

鳥羽（トハ）　常盤（トキハ）　富小路

宮職　付僧位女官

主殿寮

頭　助　允　属

東宮職　本朝事始云神武天皇亖十二年立神渟名河耳尊為皇太子

傳　學士

春宮坊　大夫　亮　進（大小）　屬（大小）

帶刀長　脇　部領（二十人）

頭

統領　在太宰府　刀祢

得業　南京僧官經三階業之人号得業
或用三藏會竪義　一方廣會竪義
二法華會竪義　慈尊竪義用遂此三階
之竪義賜維摩會研學竪義之請

六二ウ

姓氏

時原朝臣　豊國　登美トミ　豊野已上真人

鳥井宿トリ井　豊原朝臣　豊園　鳥取

殿來采クリキ已上連　豊津　豊村已上造　遠澤無尸

律朝臣　十市トヲチ無尸

名字

友トモ　奉　偏　英

知類俱偕與

儕具伴朝朋

比等誠已上トモ後トレ利

敵載年歳逸

聰智詮鏡信像イ

章已上同時トキ說節秋

辰言國国已上同遠トヲヲ避

通玄已上同德トク得同豊トヨ

仁 晨已上同 富トミ

六四ウ

知

天
象 付歳時

地
儀 付居處并居宅具

地勝ー所

塵チリ 埃同 坋

堁 堁ー塵起也

塳塕已上同

馳道チクウ 天子

所行之道也　磐チヒキノイシ　衢チマタ　衝

衕　巷　遉邏　術　岐ー路

陣チン諸ノ軍　麾已上同役ーー符ー　沠滑水行　澄池(地)　沈與已上同

地震　地動　長生殿　長觀殿チヤウクワンテン殿名

長樂門　禁中門名亦朝堂院

殖物　付殖物具

茅チ　翁草同　茅根チチ　藺根仁語音管　茄根楊玄採

地菅　地筋（筋）　兼杜　白茅（茅）出陶景注

白華　遠（遠）杜　三稜　地菅　兼根

地根　已上六名出菅名苑　白翁草（翁）出大清経

地煎　出離要決已上十五名（チノ？）見本草　菰（草）　穀（蔌）

蒯　已上同　菅チサ　蒿菅　適菅　白菅

萵莫　蒿（蒿）蕈　亦是菅類耳蒿（蒿）音馬知反出崔禹　已上三名チサ見本草也

地黄　チワウ（ホ）　一名地髄　石衣　チイサキコケ　石髪　同

爲韮　石苔　烏葫　已上同出范注方　地楡　チノハクサ

貶觜 チダクサ　紫参 チノハナサ チハウクサイ　特蒙（注）蒙

衆戎　童膓　馬行（已上同見本草）山羊蹄（チシ）已上同見本草

底敷稲 衆不動底也有数云云 或云数不定可依倉之廣狭

茶 チヤ 亦作搽小樹似支子其葉可煮為飲今呼早採為茶晩採為茗一名荈 音喘 風土記 天荈 （蜀）蜀人名茶 見葉名也

荈 同 茗草名也　（稚海藻 チカイサウ）（一本在底敷稲上）

動物

付動物躰

千鳥 チトリ　鳭（鴆）其鳥大如鴨鴞（鴞）以其毛歴飲食則殺人也

異父姉 父コトナルアネ　異父妹 父コトナルイモウト　嫡女

兒嬰ー男曰ー女曰嬰　嫡子 チヤクシ 長男曰ー　嫡孫　嬭 チヨモ 亦作妳

楚人呼母為ー母　智(知)音 チイン　知己　烏獲 チカラヒト

住持 チウチ　魑魅 チミ　知家事 チケし

勅使 チヨクし　長奉送使 チヤウフソウし 送斎王勅使出御名 (公)

定者 チヤウしヤ 諸御願供養時用之

人體 付病瘡類

乳チ　妳房チフサ　乳府　乳癰チフリ 一本チフ　尭

姤巳上円　血チ　脉チノミチ　力チカラ　制

手　均　征　胃　税

拳チカラ 巳上円　近目チカメ　痔チ チノヤマヒ　嘔血チハク　赤痢ケツリ チマルヤマヒ

[illegible] 疕ム チイ 亦作瘕　[illegible] 赤白痢也 巳上句　癮胗チヽウム 亦チサハル

痦軫 巳上円

人事 付術藝并産業

粹チキル　約ヨ　願チカフ　制　逝

盟チカヒトキ　矢ヨチカヒトモ　誓　忠こ上ヨ チカフ

寵チヨウ　智チ　賃チン如字 痛也　誅チウ如字　秩チツ如字 任一也

勅チヨク如字　除目　本朝事始云天武天皇四年三月諸臣四位粟限王為兵政官長少錦上大伴連御行

為大輔　長慶子平調　地久樂高麗

重光樂水調　（火風）　長命女兒性調　鈗紫諸懸（縣）

沙陀調　直吹鳳平調　竹林樂盤渉調

式云 織機巻径之木也 チキリ

鍮石 チウ尺 唐物

地利 月

紡 紬綢 ワラムシ 菲一 無也 菲也

之流也出天竺也

麗 チ

光彩 付繪丹并染色

債 チン 傭一

筑 チク 似箏十三絃（箏）又似筑五絃也 楽器也

逆顛 チカラカハ 斬也 戦具也

鎮子 チンレ 坐臥具也

地子 チレ 上田卅六歩一束 中田四十五歩一束 下田六十歩一束 下々田百廿歩一束

茶椀 チヤワン 碗 一（垸）

陳橘皮 チンキツヒ 曲礼云鞮屨藁一

沉香 チンカウ 栴檀

丁子 チヤウシ 栴檀之実也出天竺也

方角

貟数

千 チヽ

仟 ?

文 タウ 十丈為一

挺 チヤウ 廷字未詳 墨一丁或俗用

張 チヤウ 紙員

町 チヤウ 十段為一

千仭 チヒロ

操 チヤク 俗長八尺

辞字

近チカシ　隣亦作鄰　親　逼遍

廋　儭　似　幾　迫

殆殆欤　奈　侵近也遠也 侵膝侵膚也　尒

壊　乞　寺　迩(邇)　切

傍　躬　里　欄　殆

昵　摩　迹　比　戚

肎　暱已上チカシ　侵チカツク 膝侵痛也　擔

儻曰　小チイサシ　穉　私　策

ヒナウ

約切欲　積　稚已上円　鑲チリ公　鍍円

落チル　㪚散　毛　靡　翩

分　紛　翔　飄　宣

咩（洋）チカヒ　圀　涸（涸）　滅滅　允已上チ九

曰チカイトモ　遊遊チカフ　持　鎮チンス

釁チヌル血塗也

重點

嫡々　遅々　重々

畳字

知 々々々々々々々々
音 引口物闇濱禁江極
（圓）

々々々々々々々々々々
己人筆墨書涯罪陽杯夏

々 々々々々々々々々
見 紀錄戒冷雲門色途

々 重々々々々々々
識 寶霄山軒霧舌道

遅々々々々々々々々
速職屋譯疊事席路輪

七一

〃紋 〃服(張) 〃季 〃夜 〃交

柱石 〃林 〃軒 〃窓 〃帛 〃勇 〃行

聽聞

中外 〃根 〃古

儲貳 〃礎 〃葉(酒) 〃馬(童) 〃華

〃謀 〃者 〃衆 〃秒

〃聞 〃娯 〃夾 〃媒(バイ) 〃君 〃断

畜生 〃亭 〃箭

稠人 〃德 〃囊 〃許 〃壞

七一ウ

〃言 〃舟 〃心 〃誠

恥辱(チヨク) 〃積 〃類 〃廊 〃符 〃林

蓄積(チクセキ) 〃障 〃嶽(巖)

〃絶 〃得(符) 〃業 〃官 〃歎

竹植 〃囊 〃簡

智恵 〃恤(懐) 〃着 〃朱

林 寄 館 辭 香 好 衣 駄 護 雨 韓 下 惠

珎財 草 義 函 短 逐電 緋(脉) 靴(靶) 懷(攘) 子 鑪 仙 忠節

寶臺 物 享 關 檀(相) 月 座 陳 地理 幽 忍 勤 臣

膳 重 沈思 淪 沒 着到 用 嗟(嗟) 震 望 信 誠

佐 既(玩欣)(既) 吟 喋(謀) 滯 洒 任 府 鎮守 祇 朱 冢宰 烈 正

孝
廷
典

長短
規
官

寿
慶
圖
者
束

令
行
跪
生

事
吏
指
招(拡)

写官府官上申冷表束又留官府束文

懲勧（ケヨウクハン）
術
化
陵
香
疑

徴納

華
書
乱
民

持戒

注記

責
下

慎

濃姿
佛
齊
教
人
持
使

治略
戦
露
淫
病
路
進

住持

国
方
範
句
節
律
連

人

〃羈
〃黄
〃驚
〃道
〃居
澄淨
〃酒
締宁
〃霜
𪒠然

〃細
〃金
〃駐
女貞
〃潭洞
魑魅
〃流
逶空
鍮石

馳驟
晝夜
〃節
悵望
〃魍(魎)
踟躕
進介
餖飯

七三ウ

〃走
〃騁
〃寝
頂戴
〃然
致仕
伏坐
杻械
茶茗 嗏茶也

〃射
〃走
蟄虫
〃礼
〃兕
鴆毒
〃齊
蟲篆 象
沖融
蜘蝑

秋穡（シヤウスイ）（シモトシ ヌワエ 人呆） 打擲 稀落 値遇 躊躇（チウチヤウ）

眤交（ケフカウ）（ムツマシハル） 贔負 笞杖（チチヤウ）徒流死 住持

眤近 舳艫（チクロ）舟名也 未舟 交加（キヤウカフ） 濁世（ヂヨクセ）

伎近（ケカワク） 千種 調檐（テウモン） 握躋 秩満（外国官人）

明年閏 又進官式云国司秩満帳者式部造籍正月一日進大政官外記覆勘了進大臣奏聞拝除云云

諸社

竹生嶋 在近江国 此嶋坐神依中臣奏上件神奉授従五位上勲八等 旨浅井姫命子氣

吹雄命競勢争力更去(丸)北邊下坐海中其下海青称云都布〻〻云都布夫嶋即件神凝水沫而為磐積塵而作嶋又呂請負今遷(西)右字今云負埼負遊集之処也呂請島今落殖木種今猶衆鳥来集之峯也如此歴功長成林叢初竹篠出生故云竹生島爰海龍風来廻嶋七匝蟠繞鎮嶋晋尾相咋每貝一匝一神頭生件(往)杭八方今之大神及七所神子是也又此嶋有大蛇長千丈也纏嶋数廻晋尾相咋只有一蛇長数丈也從宇治川登到居此嶋之上〻〻〻相模寺僧行基為聖朝安穏国家鎮護奉造長二尺四天王像即称十葦安置四王

地震祭　二月晨篭以御鏡每夜祭之

知除波夜神社（チノハヤ）　尾張国中嶋郡　廿座内

五良命〻〻　伊豆国賀茂郡　廿四座内

鏡陽〻〻 出雲ー意宇郡 廿八坐内

知伊〻〻 同神門郡 廿七坐内

知波夜比古〻〻 備後ー三谿（谿）郡坐

知波夜比賣〻〻座 同三次郡

已上見延喜式

諸寺 付靈驗所并佛菩薩名号

中堂 号根本一乗止観院

俗云此中堂云云

延暦十九年庚辰依宣旨建立并総院塔天長六年

巳圓天皇行幸中堂歟堂ー主　勅宣任大僧正　代

代天皇天台山行幸　及數箇度云云　兼平六年丙申三

月六日大安寺堂舎四十宇焼之但薬師佛像衆人扶出不焼是之以後歴百五十年有此寺根本燈明不滅也安置薬師佛像三体内一軀傳教大師自手造之一軀惟首和尚一軀或人願又坐七軀像高二尺立像

定額寺　在諸国見于格

智満寺　在駿河国

筑波寺　在常陸国

長安寺　日本紀云近江国栗太郡多他卿(郎)寺是也

智識寺　在河内国之由見扶桑略記孝謙天皇天平勝寶元｜十月行幸此寺

岡野姫天皇七年二月十日此寺本尊観音像長六丈造畢
人由見于国史

持明院　或書云承暦四ー十月阿闍梨五口(申)甲寺之西京生
主良ー仲日供養為所領寺歟

地蔵菩薩　持地菩薩　持国天

鎮壇　弘仁四ー癸巳閑院大臣冬嗣建立南円堂鎮壇
弘法大師御年四十本朝以之為始

中宮寺　扶桑略曰太子御建立是太子母后之宮也号法
興寺是也法興寺ハ本元興寺本名也可尋日本
紀二ハ号中宮尼寺中宮寺事歟

貞観寺　答曰夫貞観寺建立之初未定真名因茲
假嘉祥寺為其名号即称西院今住僧者

貞觀四年七月廿日應以嘉祥寺之西院爲貞觀寺之
狀下知民訖兩年分之(二)度依舊不改恐後代之人還(足)
致疑殆望請　官裁被改定者從三位守大納言兼右近
衛大將陸奧出羽按察使藤原朝臣基經宣(宣)依件改
貞觀十四年七月十九日淸和天皇御宇。貞觀十六一
甲午三月廿三日壬午初設大齋會供養親王公卿百官
參集

智足院　件寺不知何年建之檀那又不詳化現不
動像有夢告或聖人自草中奉求出安置
之件像非木非金而有乾(漆)氣靈驗奇特後佛師[illegible]父(丈)(文)
惠進等身四面四臂像奉籠之了不能拜見其後自
延曆寺飛來如意輪像坐此寺云云

定心院　深草天皇御願
延喜十八年戊寅建立置十禪師天皇此行幸

國郡 付名所

筑前國

宝亀二年十二月停國隷太宰府延暦十六年九月廃筑前司隷太宰府
大同三一五月又置之外従五位下太宅朝臣君子天平十(一)四月始任也

管 十五

怡土イト　志麻シマ　早良サウラ　那珂ナカ
席田　糟屋カスヤ　宗像ムナカタ　遠賀ヲカ
鞍手クラテ　嘉麻カマ　穂浪ホナミ(浪)　夜須ヤス
下座シモツアサクラ　上座カミツアサクラ　御笠 大宰府 本国府
本田一万九千七百五十町　去府一日

筑後國

管十四　生葉イクハ　竹野タカノ
御原ミハラ　山本　三瀦ミヅマ
上妻カミツマ　御井ミヰ　山門ヤマト
三毛ミケ　下妻シモツマ
本田二万二千八百二十八町

鎮西　筑紫

官職　付僧位女官

中納言　持統天皇元丁〔子〕味始置中納言官
或云六壬子十一月始置之云々天平勝宝元己丑
始置権中納言

中宮職 天應元ノ年酉始置中宮職

大夫 亮 屬大小 進

治部省

卿 輔大小 丞[illegible]大小 錄大小

主税寮

頭 助 允 屬

筝師

鎮守府

七八ウ

將軍 西府外四等

將監

軍曹

醫師 上手為限

婿師 同上 已上見弘仁格

廳官 在院廳語図

忠 在彈正

直講 在大學

長史 吏叙

長者

定額

注記

中綱

中將

知家事

長講

姓氏

小子部 チヒサコヘ 宿祢

珍 チン 縣主 アカタヌシ

筑紫 チクシ 連

道守チモリ　中氏

名字

近チカ　迹　親　愛　隣

周　允　幾　鹿　懐

用　身　損　子　實

見　元チカ已上円　千チ

昭和三年十二月廿日印刷
昭和三年十二月廿五日發行

日本古典全集 第三期【非賣品】

伊呂波字類抄　第一

編纂者　正宗敦夫

東京府北豐島郡長崎町一六二
發行者　合資會社 日本古典全集刊行會
代表社員　長島東一

東京市深川區西六間堀町十七番地
印刷所　大文社印刷所

印刷者　芳賀林太郎

發行所
東京府北豐島郡長崎町一六二
合資會社 日本古典全集刊行會
振替東京七三〇三二
電話大塚二〇九六番